VVAULT® TMS 設定マニュアル

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

1 インストール 5

2 管理コンソールへのアクセス 13

3 TMSライセンス・Explorer CALの登録 19

4 VVAULTサーバーへの接続 37

5 サービスの設定 45

6 通知メールの設定 51

7 操作ログのダウンロード 55

8 認証ロックの解除方法 59

9 警告・障害の解決方法 63

10 管理コンソールの単体インストール 67

はじめに

本文書のご利用にあたって

- 本文書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。
- 本文書で使用している情報及び画像は本文書執筆時点のもので、最新版の製品および製品サイトと文言やデザイン等が異なる場合があります。
- 本文書内の社名、製品名は各社の商標又は登録商標です。

目次

1 インストール 5

1-1 インストール前の準備 6

1-2 インストール 7

1-3 アンインストール 11

2 管理コンソールへのアクセス 13

2-1 管理コンソールの起動 14

2-2 有効なアカウント名の確認 15

2-3 ログインとログアウト 16

2-4 基本構成と各部の名称と役割 18

3 TMSライセンス・Explorer CALの登録 19

3-1 ライセンスについて 20

3-2 各部の名称と役割 21

3-3 ライセンスコードでの登録 24

3-4 オンラインでの登録 27

3-5 オフラインでの登録 30

4 VVAULTサーバーへの接続 37

4-1 VVAULTサーバーについて 38

4-2 各部の名称と役割 39

4-3 VVAULTサーバーの追加 41

4-4 サーバー・共有ポイントの表示名変更 43

5 サービスの設定 45

5-1 サービス設定とは 46

5-2 各部の名称と役割 47

5-3 TMSサービスの起動 49

6 通知メールの設定 51

6-1 通知メールとは 52

6-2 各部の名称と役割 53

7 操作ログのダウンロード 55

7-1 操作ログとは 56

7-2 各部の名称と役割 57

8 認証ロックの解除方法 59

8-1 認証ロックとは 60

8-2 各部の名称と役割 61

9 警告・障害の解決方法 63
9-1 警告・障害情報の確認 64
9-2 警告・障害の種類と解決方法 65

10 管理コンソールの単体インストール 67
10-1 管理コンソール単体のインストール前の準備 68
10-2 管理コンソール単体のインストール 69
10-3 管理コンソール単体のアンインストール 72

1 インストール

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

1-1 インストール前の準備 6

1-2 インストール 7

1-3 アンインストール 11

1-1
インストール前の準備

動作環境の確認

TMSサーバー

CPU	Intel x86 ／ x64 互換プロセッサ（Xeon E3 以上推奨）
対応OS	SERVER OS Windows Server 2022（64bit） Windows Server 2019（64bit） Windows Server 2016（64bit）
メモリ	2GB以上（4GB以上推奨）
ディスク容量	1GB以上の空き容量（インストール時）
必要ソフトウェア	.NET Framework 4.5
対応環境	VVAULT 9.0.0以降がインストールされたサーバー ドメイン（ドメインコントローラー、ドメインメンバー） ワークグループ（VVAULTがインストールされているサーバーにインストールする必要あり）

管理コンソール

CPU	Intel x86 ／ x64 互換プロセッサ（Xeon E3 以上推奨）
対応OS	SERVER OS Windows Server 2022（64bit） Windows Server 2019（64bit） Windows Server 2016（64bit） PC OS Windows 10（32bit ／ 64bit）
メモリ	1GB以上（2GB以上推奨）
ディスク容量	500MB以上の空き容量（インストール時）
必要ソフトウェア	.NET Framework 4.5
対応環境	同バージョンのVVAULT TMSがインストールされたサーバー ドメイン（ドメインコントローラー、ドメインメンバー） ワークグループ

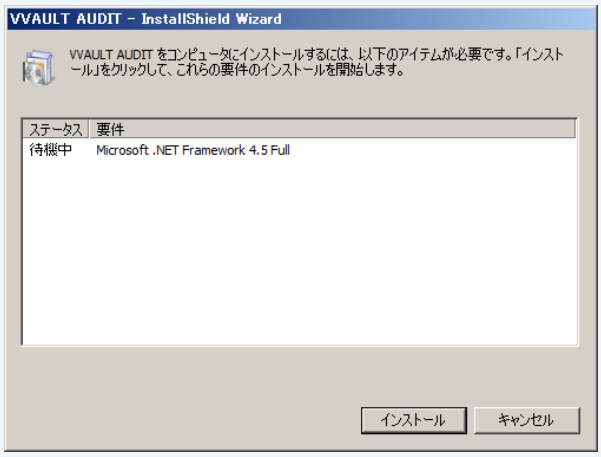
1-2
インストール

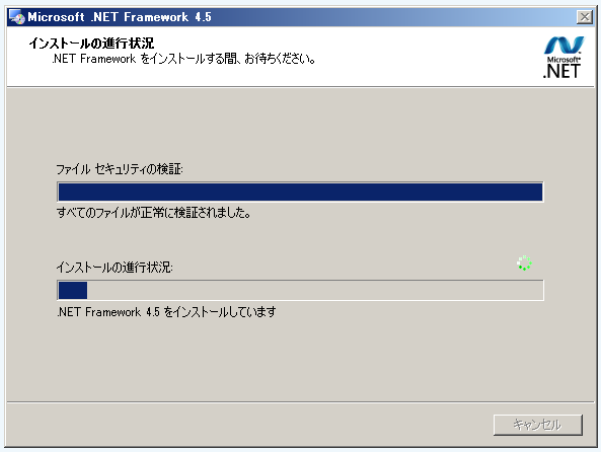
本製品のインストーラーを製品サイト（http://vvault.jp/download/）からダウンロードし、実行してください。

Microsoft .NET Framework 4.5について

インストール手順①でインストーラーを実行した際、「Microsoft .NET Framework 4.5」がインストールされていない環境では、以下の画面が表示されます。本製品の動作に必要なソフトウェアの為、ウィザードに従ってインストールしてください。

※インストール後は再起動が必要になる場合があります。

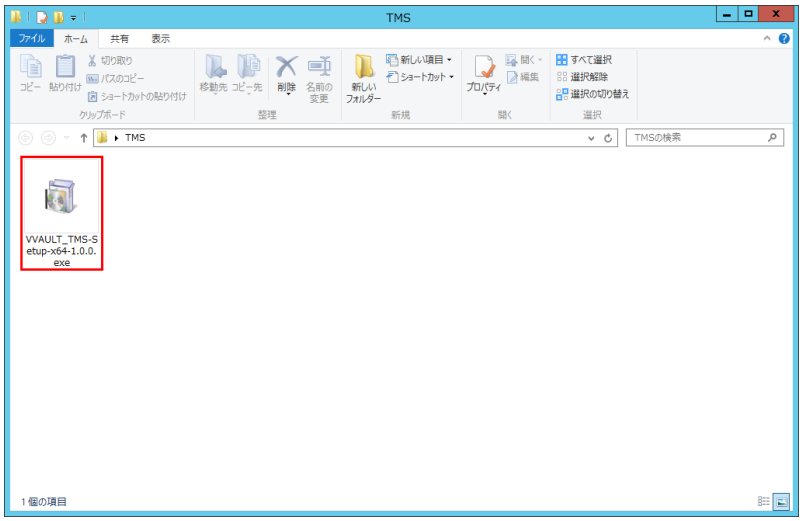




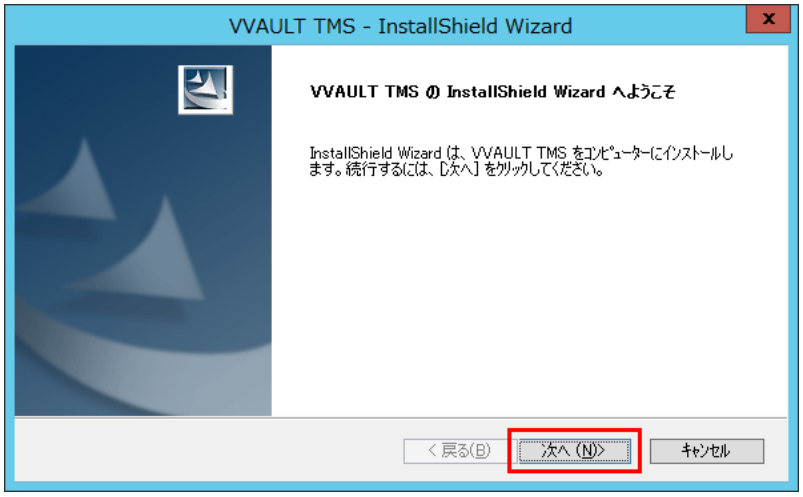
尚、ネットワークに接続できない環境でのご利用の場合は、以下のURLより別途インストーラーをダウンロードして、インストールしてください。
http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30653

手順解説

① 本製品の最新版のインストーラーを実行します。



② インストーラーのウィザード開始画面にて「次へ」ボタンをクリックします。



③ 使用許諾契約を確認後、「使用許諾契約の全条項に同意します（A)」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。

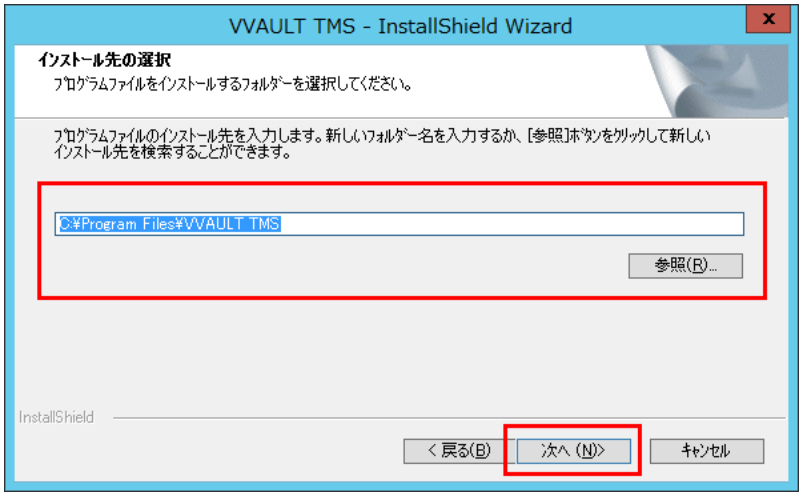
⚠ ご注意

ワークグループ環境でご利用の場合、必ずVVAULTサーバーと同じマシンにインストールしてください。
（別のマシンにインストールすると、VVAULT Explorerからの認証処理が正常動作できません）

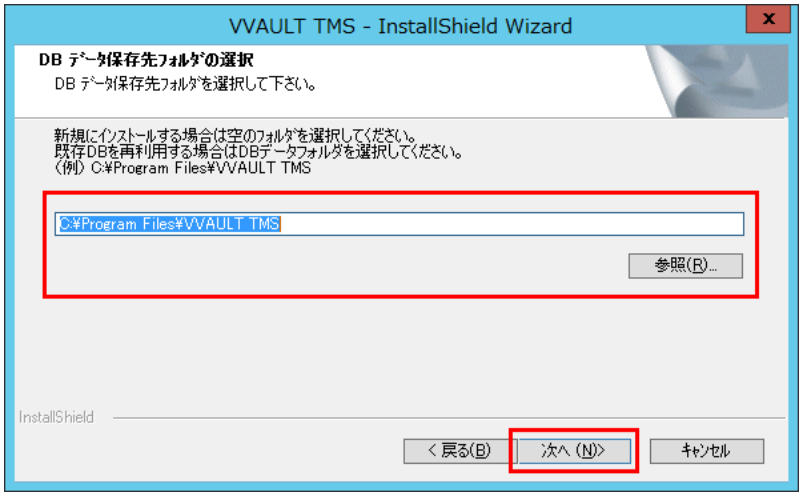
UACが有効の場合、インストーラーは管理者権限で実行してください。
またドメインメンバーのコンピューターにインストールする場合は、ローカルの管理者アカウントでログインしてから実行してください。

手順解説

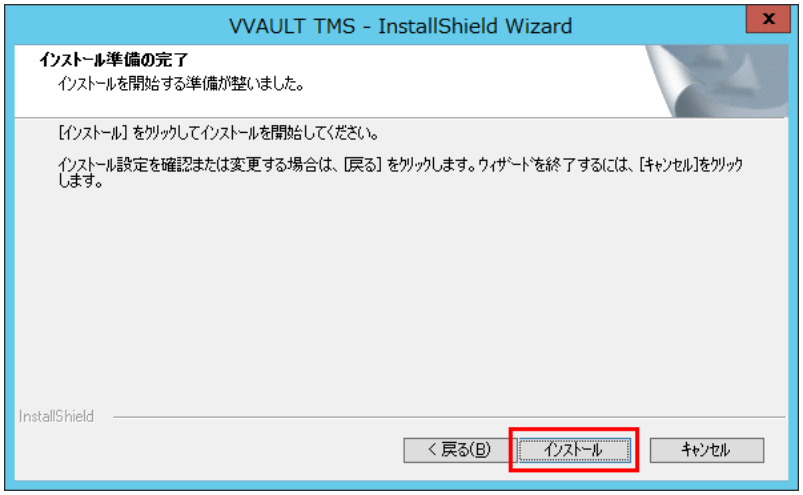
④ プログラムのインストール先を指定し「次へ」ボタンをクリックします。



⑤ DBデータ保存先フォルダのパスを入力し「次へ」ボタンをクリックします。

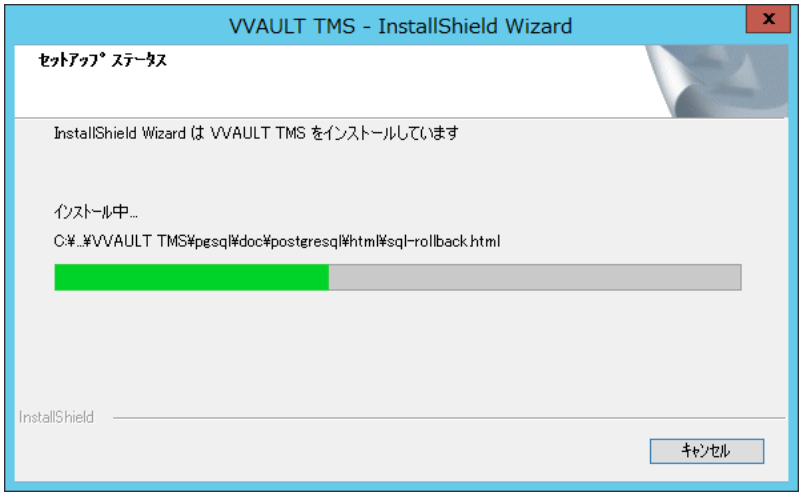


⑥「インストール」ボタンをクリックします。

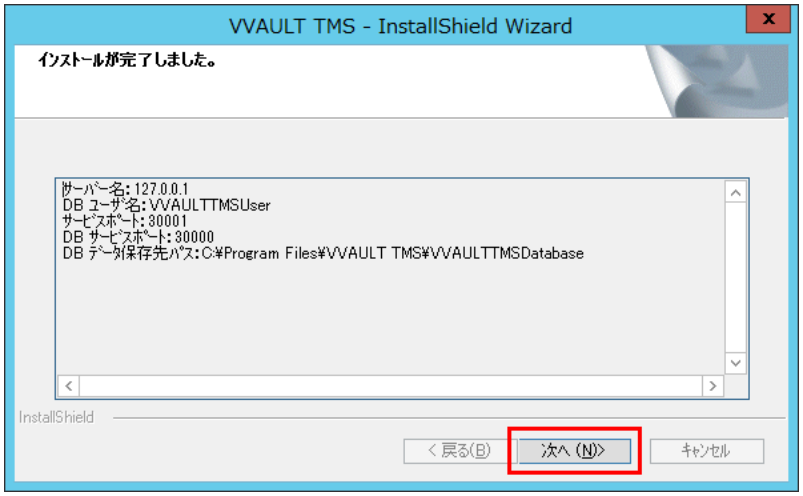


手順解説

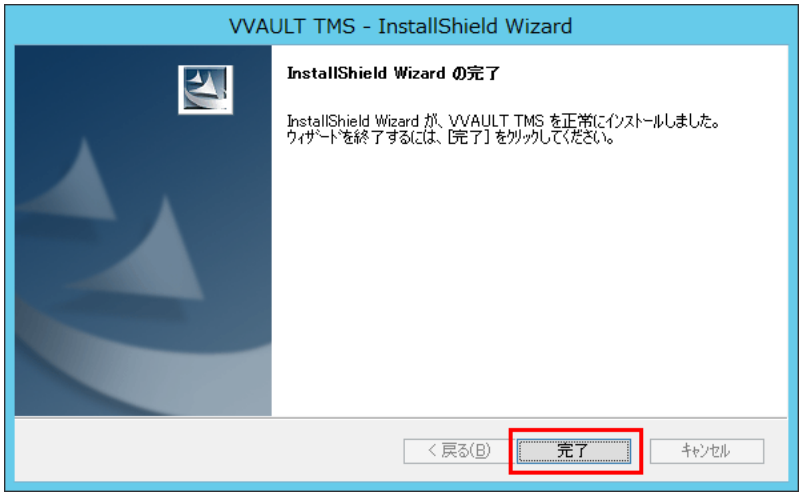
⑦ インストールが開始されます。



⑧ 各種設定状況が表示されるので「次へ」ボタンをクリックします。



⑨ 「完了」ボタンをクリックするとインストールが完了します。

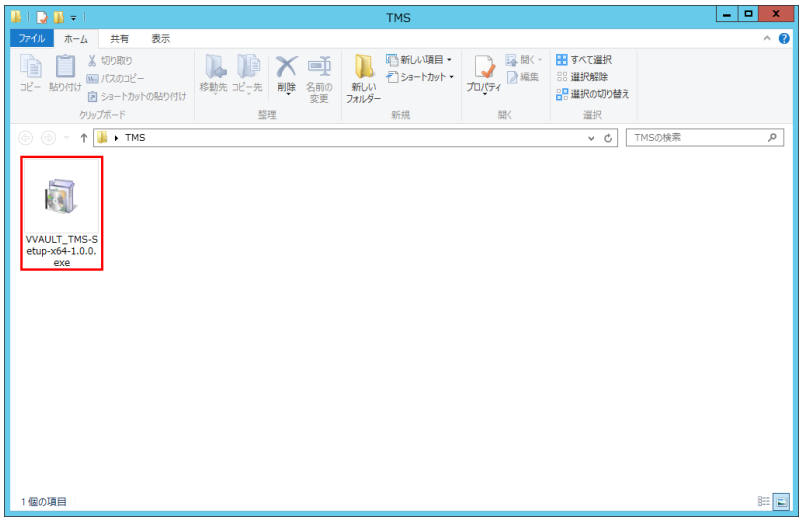


1-3
アンインストール

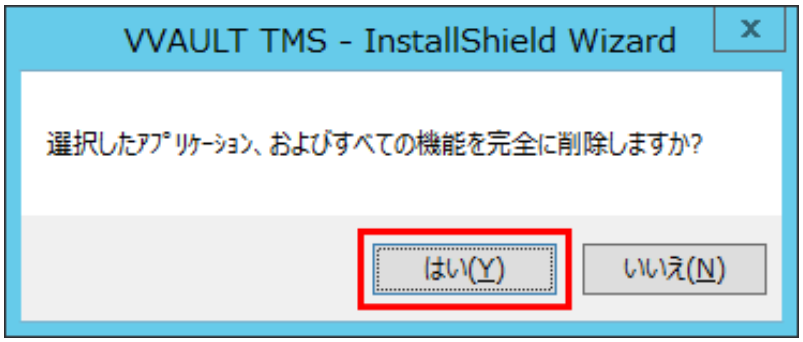
本製品をアンインストールするには、以下の手順に従ってください。

手順解説

① インストールされているVVAULT TMSと同じバージョンのインストーラーを実行します。



② 以下のダイアログが表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。

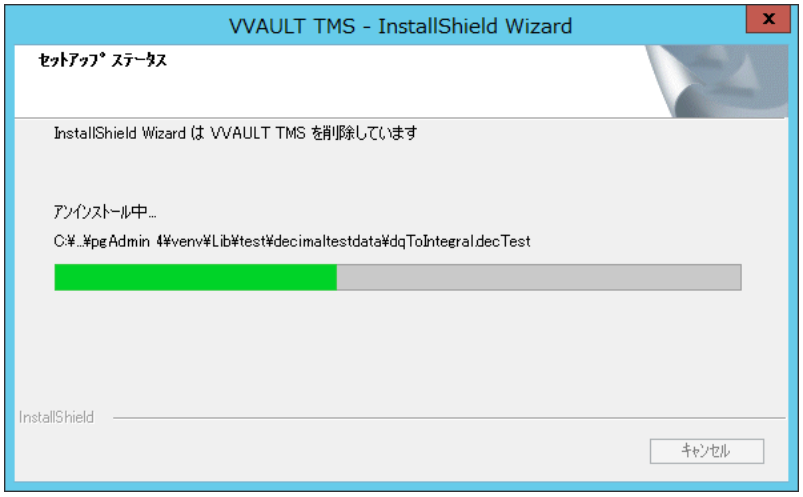


ワンポイント

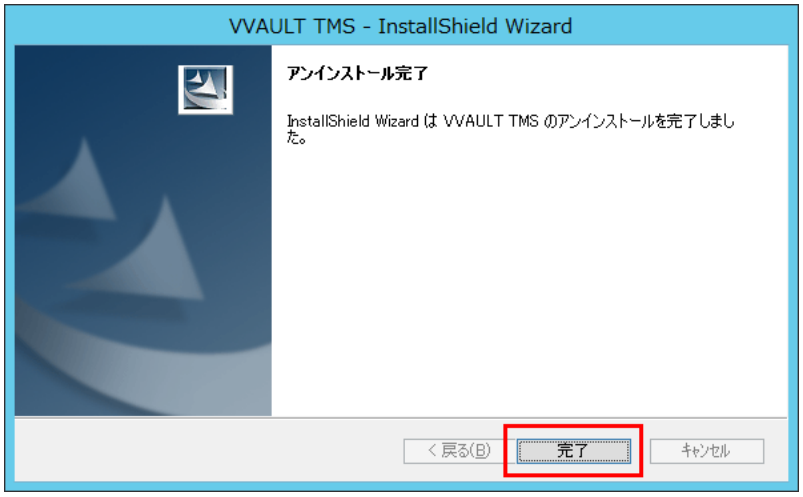
インストールに使用したインストーラーが無い場合は、コントロールパネルの「プログラムと機能」からVVAULT TMSを右クリックしてアンインストーラーを起動することができます。尚「プログラムと機能」と同等の機能はOSによって名称や操作が異なります。

手順解説

③ アンインストールが開始されます。



④「完了」ボタンをクリックしアンインストールを完了させます。



2 管理コンソールへのアクセス

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

2-1 管理コンソールの起動 14

2-2 有効なアカウント名の確認 15

2-3 ログインとログアウト 16

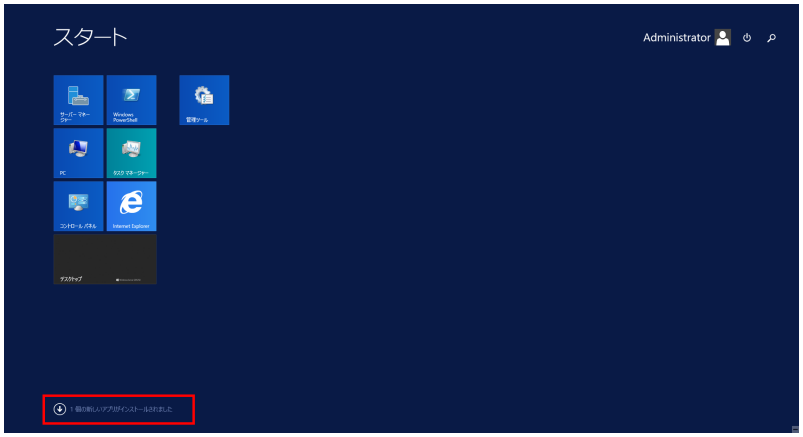
2-4 基本構成と各部の名称と役割 18

2-1
管理コンソールの起動

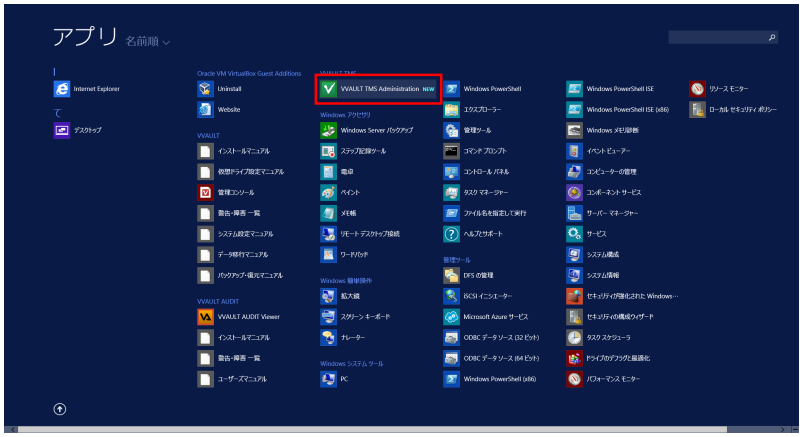
本製品の管理コンソールを起動するには以下の手順に従ってください。

手順解説

① スタートメニューに表示された下方向の矢印をクリックします。



② 「管理コンソール」をクリックすると、アプリケーションが起動し、管理コンソールへのログイン画面が表示されます。。

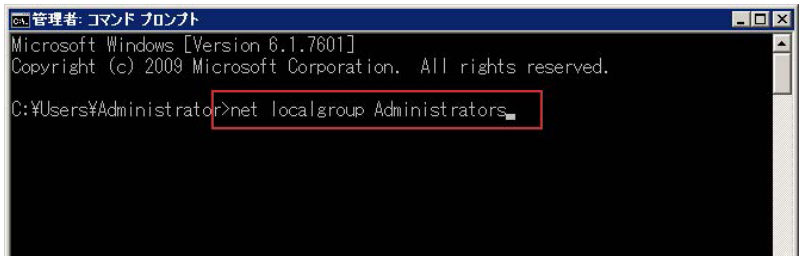


2-2
有効なアカウント名の確認

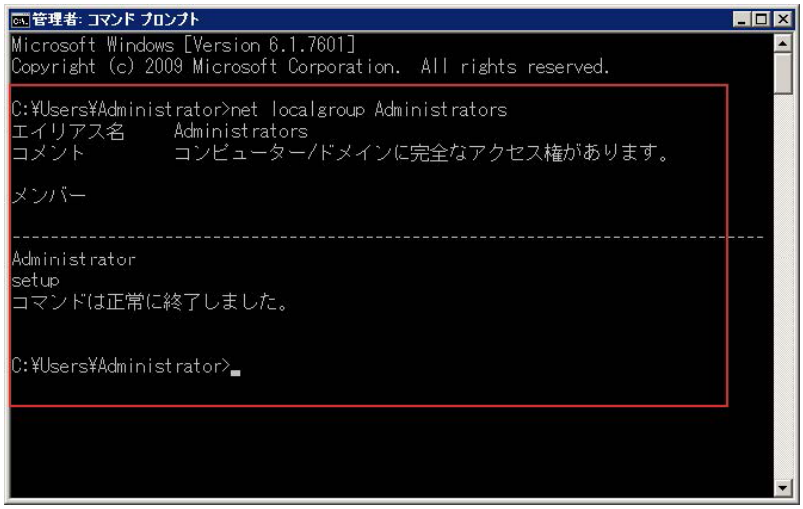
管理コンソールに接続するには、OSのAdministrators グループに存在するアカウント名、およびパスワードが必要となります。ただし、実際のアカウント名と表示されている名称が異なる場合がありますので、以下の手順に従い、管理者の実際のアカウント名をご確認ください。

手順解説

① 「コマンドプロンプト」にて、「net localgroup Administrators」と入力し、実行します。



② 管理者アカウントの一覧が表示されますので確認します。この例では「Administrator」が実際のアカウント名となります



ワンポイント

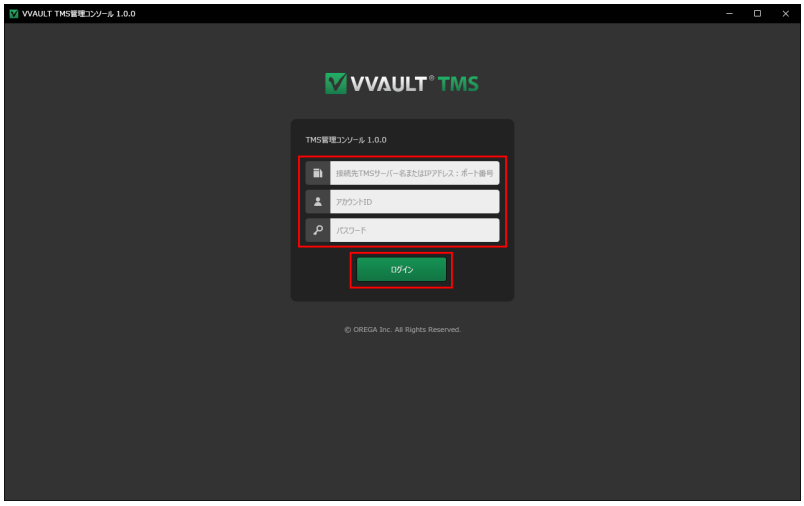
漢字名称の場合でもアカウント名として使用可能です。また、パスワードを設定していない場合は空白のままとしてください。

2-3
ログインとログアウト

管理コンソールには以下の手順でログインできます。尚、ログイン画面へのアクセス方法は「2-1 管理コンソールの起動（P.14）」を、認証に失敗する場合は、「2-2 有効なアカウント名の確認（P.15）」をご覧ください。

ログインの手順

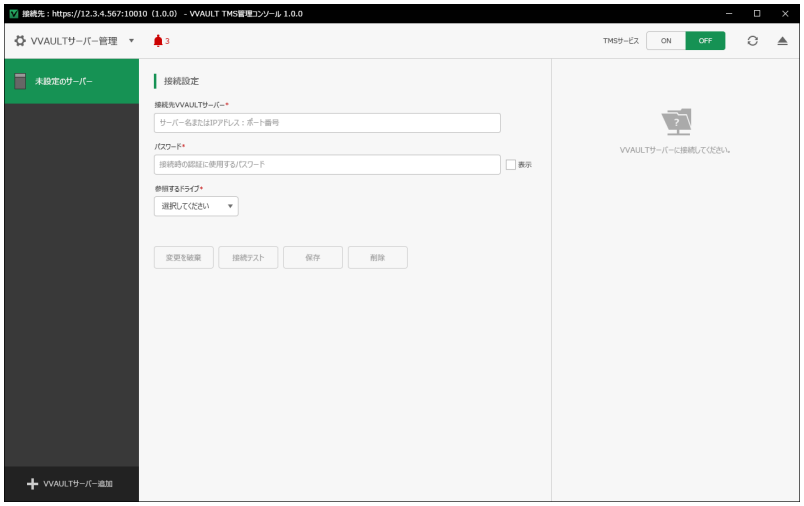
① OS の Administrators グループに存在するアカウント名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



ワンポイント

接続先を変えることで別コンピューターにインストールされた TMS サーバーへ接続することも可能です。その際は接続先のコンピューターで有効なアカウントとパスワードを指定してください。

② 以下の画面に切り替わり、認証が完了します。

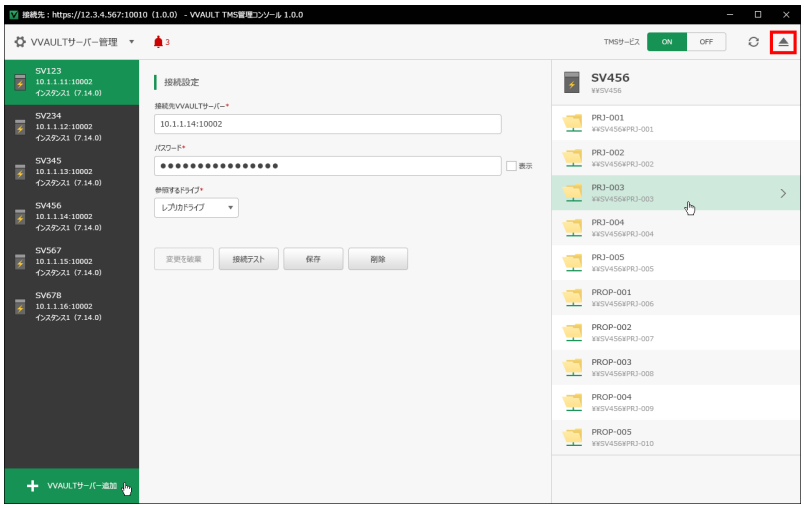


ワンポイント

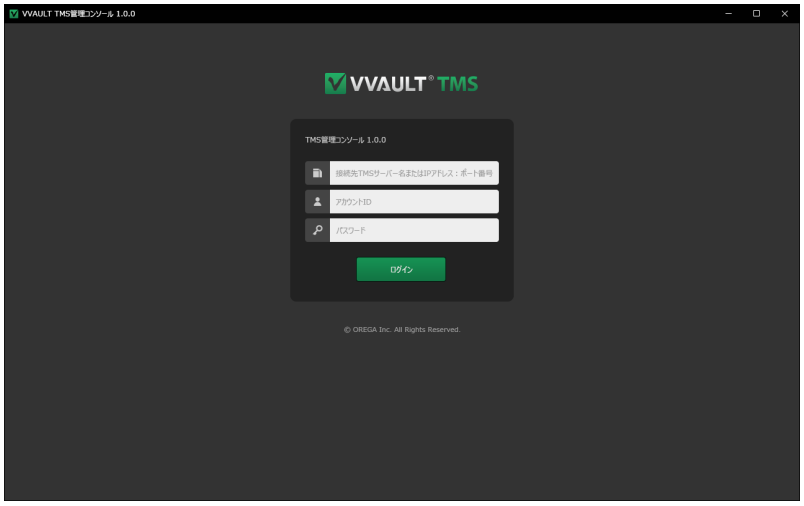
エージェントサービスとの接続に失敗する場合は、Windows サービス一覧より「VVAULT TMS Service」が起動していることを確認し、起動している場合はサービスを再起動してください。

ログアウトの手順

① 管理コンソールの右上端にある「▲」ボタンをクリックします。

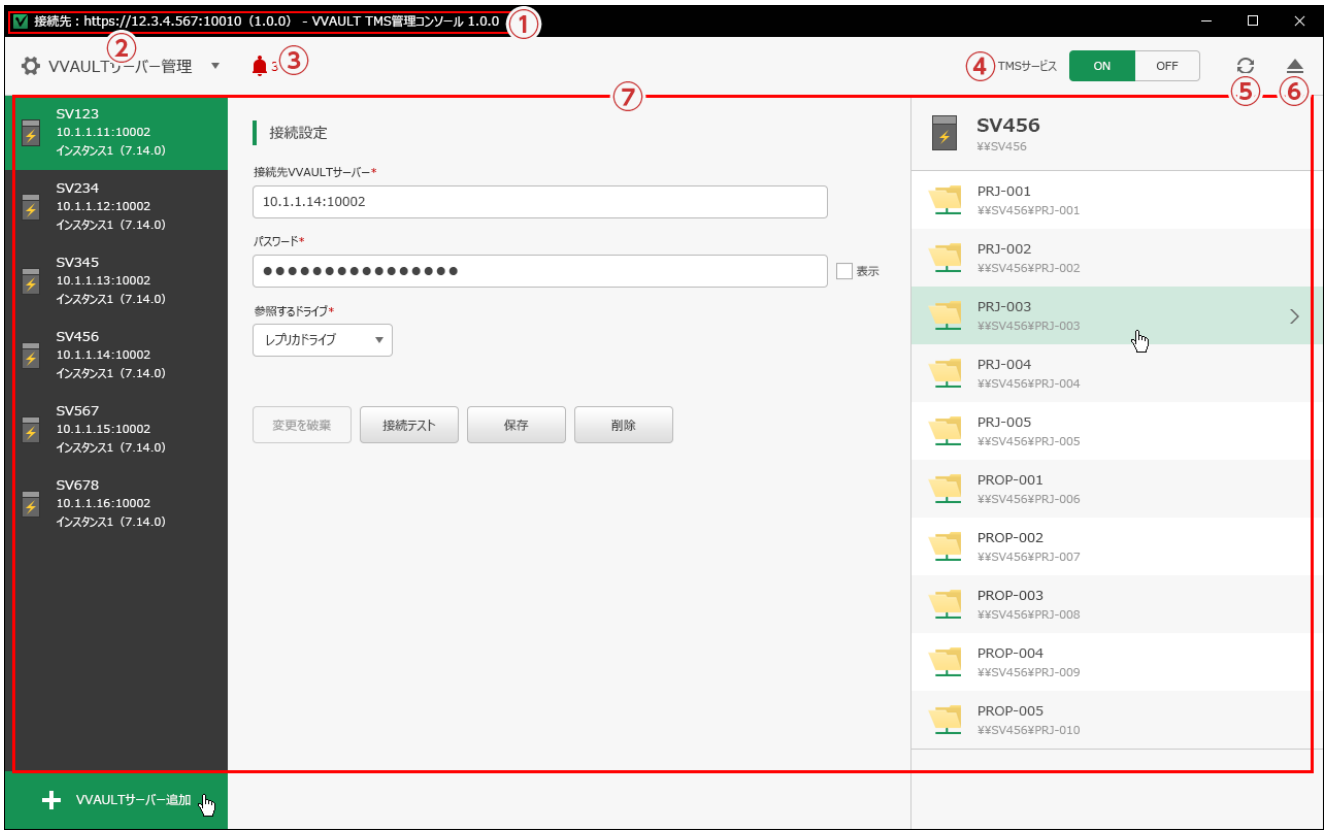


② 管理コンソールからログアウトされ、ログイン画面が表示されます。



2-4
基本構成と各部の名称と役割

本製品では、どの画面でも迷うことなく操作できるよう、全ての画面で以下のレイアウトを基本として構成しています。
ここでは例として「VVAULTサーバー管理」画面を使用して説明します。



名称と役割

① **接続先と管理コンソールバージョン**
現在接続しているTMSサーバのアドレス（バージョン）と、接続元となる管理コンソールのバージョンを表示します。

② **グローバルメニュー**
管理コンソールの各種画面に移動するためのメニューリストです。

③ **［警告・障害情報］ボタン**
TMSサーバーで警告・障害が発生している場合は、アイコンが赤色になり、問題の件数がカウントされます。ボタンをクリックすると、警告・障害一覧画面に移動します。

④ **［TMSサービス］ボタン**
TMSサービスの開始／停止を切り替えます。停止すると、ログイン中のVVAULT Explorerはすべて切断されますので、十分ご注意ください。

⑤ **［リロード］ボタン**
画面をリフレッシュします。VVAULTサーバー管理画面では、サーバー内の共有ポイント一覧も最新状態に更新します。

⑥ **［ログアウト］ボタン**
管理コンソールからログアウトし、ログイン画面に移動します。

⑦ **メインエリア**
各画面の主だった情報や設定内容を表示・操作するエリアです。

3 TMSライセンス・Explorer CALの登録

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

3-1 ライセンスについて 20

3-2 各部の名称と役割 21

3-3 ライセンスコードでの登録 24

3-4 オンラインでの登録 27

3-5 オフラインでの登録 30

3-1
ライセンスについて

VVAULT Explorer から TMS サーバーに接続するには、通常のライセンスに加え、CAL（クライアント アクセス ライセンス）の登録が必要になります。

本製品にはインストール初期状態で Basic ライセンスが登録されています。Basic ライセンスは無料でご利用いただけますが、CAL が登録できないため、まず有効な TMS ライセンスを登録し、その後に Explorer CAL を登録（複数登録可）するようにしてください。ライセンスについての詳細は、「ライセンス」ページ（http://vvault.jp/license/index.html）をご覧ください。

TMSライセンス・Explorer CALの登録方法

TMS ライセンス、および Explorer CAL の登録方法はそれぞれ下記の3種類から選択可能です。

・当社発行のライセンスコードをお持ちの場合 .....「3-3 ライセンスコードでの登録（P.24）」
・インターネットに接続可能なコンピューターでご利用の場合 .....「3-4 オンラインでの登録（P.27）」
・インターネットに接続できないコンピューターでご利用の場合 .....「3-5 オフラインでの登録（P.30）」

「ライセンスコードでの登録」および「オンラインでの登録」では、インストールするコンピューターからカスタマーズ・スクエアにアクセスします。インターネットに接続する際にプロキシを利用する場合は「プロキシサーバー設定画面（P.23）」をご参照ください。

TMSライセンス・Explorer CALの失効と違反について

CAL 数オーバーでライセンス違反となった際は、管理コンソールにてライセンス違反の旨のメッセージが表示されます。この場合、すでにログイン中の VVAULT Explorer は継続して利用できますが、新しいログイン要求はすべて拒否され、ログインエラーとなりますのでご注意ください。

【ライセンス違反となる条件】

・サービス設定にて指定されたグループに所属するユーザー数が、Explorer CAL の合計数を超えている場合

ライセンス有効期限の超過でライセンス失効となった際は、管理コンソールにてライセンス失効の旨のメッセージが表示されます。この場合、TMS サービスが強制的に OFF となり、ログイン中の VVAULT Explorer もすべて切断されますのでご注意ください。尚、通知メール（詳細は「通知メールとは」を参照）機能によって、有効期限が近づいた際は警告メールを送信しますので、予めメールの設定をしておくことを推奨します。

【ライセンス失効となる条件】

・ライセンスの有効期限を超過した場合

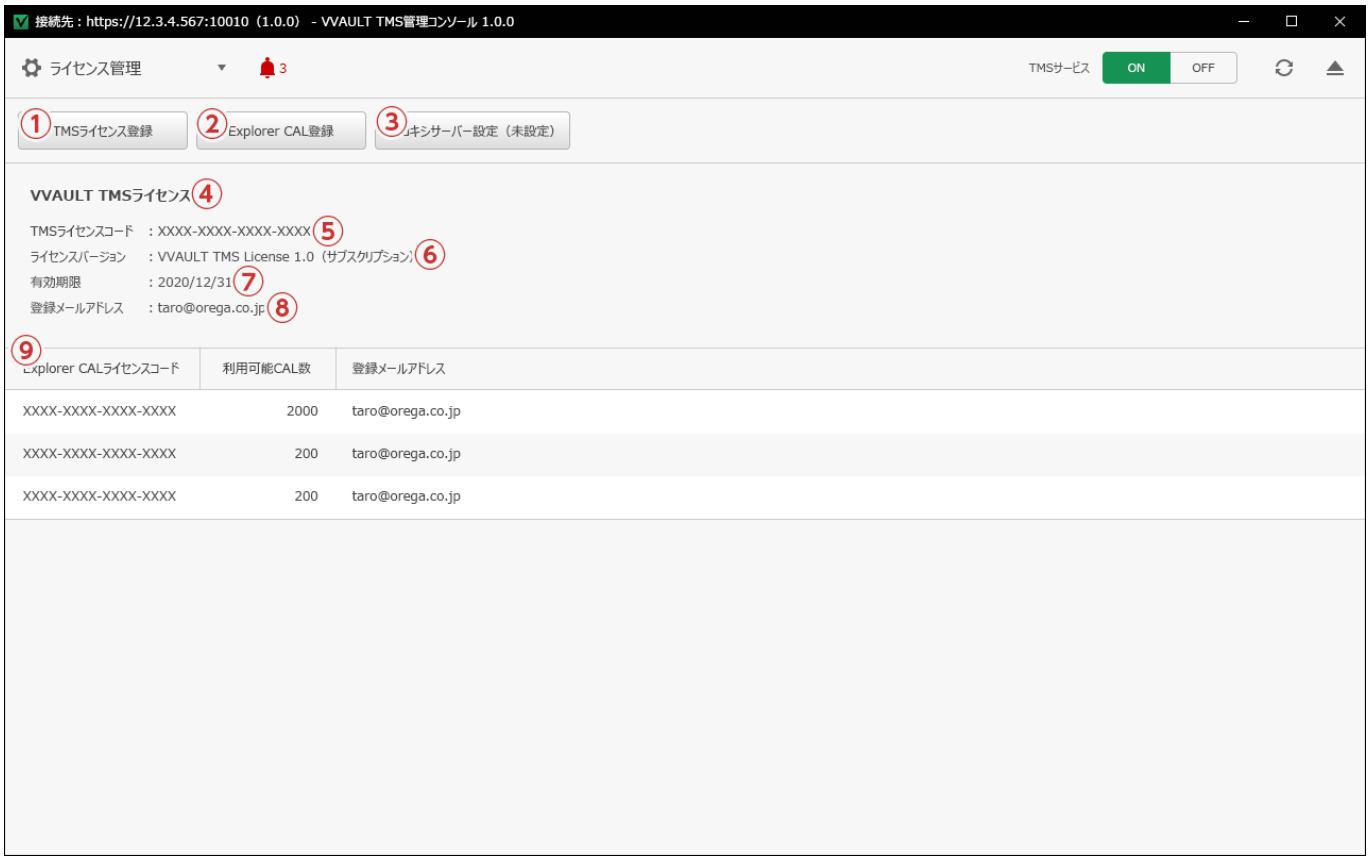
TMSライセンス・Explorer CALの再発行について

TMS ライセンス、および Explorer CAL は、本製品を再インストールした場合などにご利用いただけるよう、５回まで再発行が可能となっております。オンライン登録、およびライセンスコードでの登録では、「登録」ボタンを実行した際に、オフライン登録では、カスタマーズ・スクエアにて、ライセンス識別ファイルをアップロードした際にライセンス発行処理が１回実行されます。

3-2
各部の名称と役割

本製品に登録されている「TMS ライセンス」と「Explorer CAL」を管理する画面です。

ライセンス設定画面



名称と役割

① ［TMS ライセンス登録］ボタン
TMS ライセンス登録ウィザードを起動します。

② ［Explorer CAL 登録］ボタン
Explorer CAL 登録ウィザードを起動します。

③ ［プロキシサーバー設定］ボタン
「ライセンスコードでの登録」「オンラインでの登録」を利用する際、カスタマーズ・スクエア（https://vvault.jp/customers/）への接続にプロキシサーバーを利用します。プロキシサーバーの設定については「プロキシサーバー設定画面（P.23）」を参照してください。

④ ライセンス名
現在登録されている TMS ライセンスの名称が表示されます。

⑤ ライセンスコード
現在登録されている TMS ライセンスのライセンスコードが表示されます。

⑥ ライセンスバージョン
現在登録されている TMS ライセンスのライセンスバージョンが表示されます。

⑦ 有効期限

現在登録されているTMSライセンスの有効期限が表示されます。

⑧ 登録メールアドレス

ライセンス登録時に使用したメールアドレス（カスタマーズ・スクエアへのログインID）が表示されます。

⑨Explorer CALレコード

現在登録されているExplorer CALのライセンスコード、CAL数、登録メールアドレスを表示します。

プロキシサーバー設定画面

名称と役割

① **[プロキシサーバーを使用する] チェックボックス**
プロキシサーバーを使用する場合はチェックを入れてください。

② **サーバー名（入力必須）**
プロキシサーバーのアドレスを入力する項目です。http:// を除くホスト名または IP アドレスを指定してください。
例）192.168.10.154

③ **ポート番号**
プロキシサーバーのポート番号を入力する項目です。

④ **[接続にユーザ名とパスワードを使用する] チェックボックス**
プロキシサーバーへの接続に認証が必要な場合はチェックを入れてください。

⑤**ユーザー名**
プロキシサーバーへの接続に使用するユーザー名を入力する項目です。
Basic 認証の場合は「ユーザー名」のみを指定してください。
例）username
NTLM 認証の場合は「ドメイン名￥ユーザー名」の形式で指定してください。
例）domain¥username

⑥ **パスワード**
プロキシサーバーへの接続に使用するパスワードを入力する項目です。

⑦ **[表示] チェックボックス**
パスワード欄に入力されている文字列を可視化します。

⑧ **[接続テスト] ボタン**
入力されている設定値で送信テストを行います。

⑨ **[決定] ボタン**
入力されている設定値を保存します。

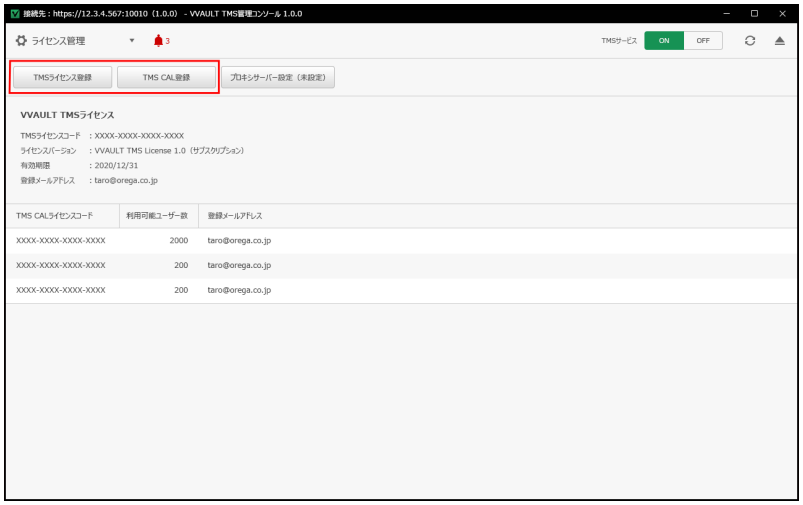
⑩ **[キャンセル] ボタン**
設定値を保存せず、ウィンドウを閉じます。

3-3
ライセンスコードでの登録

ライセンスコードでの登録には、当社が発行したライセンス証書、またはカスタマーズ・スクエア（https://vvault.jp/customers/）で購入・発行されたライセンスに記載されているライセンスコードが必要になります。お手元にご用意の上、以下の手順に従って登録してください。
尚、ライセンスコードでの登録はインターネットへの接続が必要になります。（インターネットに接続する際にプロキシを利用する場合は「プロキシサーバー設定画面（P.23）」をご利用ください）インターネットに接続できない環境の場合は「3-5 オフラインでの登録（P.30）」をご覧ください。

手順解説

①「TMS ライセンス登録」または「TMS CAL 登録」ボタンをクリックします。

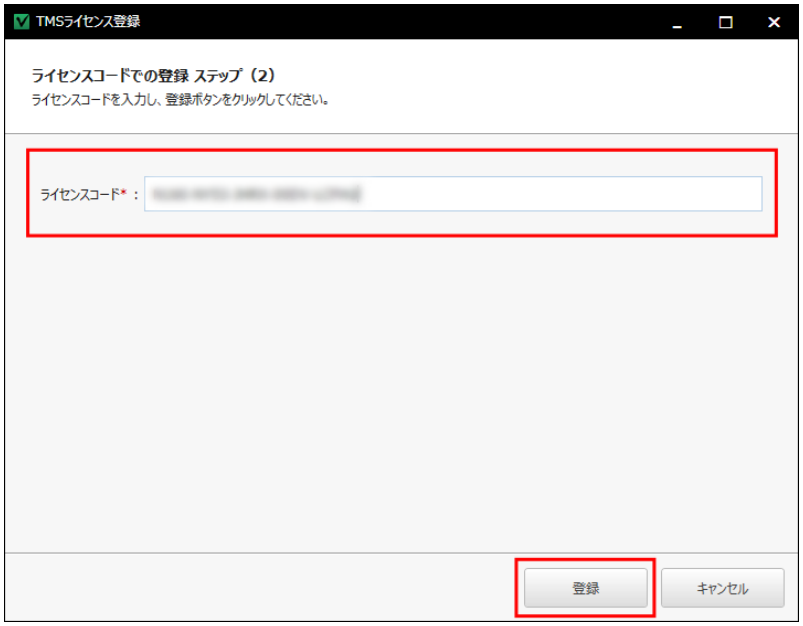


②「ライセンスコードでの登録（オンライン）」を選択し、「次へ」をクリックします。

手順解説

③ カスタマーズ・スクエア（https://vvault.jp/customers/）のログインID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

④ ライセンスコードを入力し、「登録」ボタンをクリックします。



ワンポイント

カスタマーズ・スクエアのアカウントをお持ちでない場合は、「ユーザ登録申請」より、アカウントを作成してください。
パスワードをお忘れの場合は、「パスワード再発行申請」より、パスワードを再発行してください。

手順解説

⑤ 登録内容を確認し、問題がなければ「登録」ボタンをクリックします。

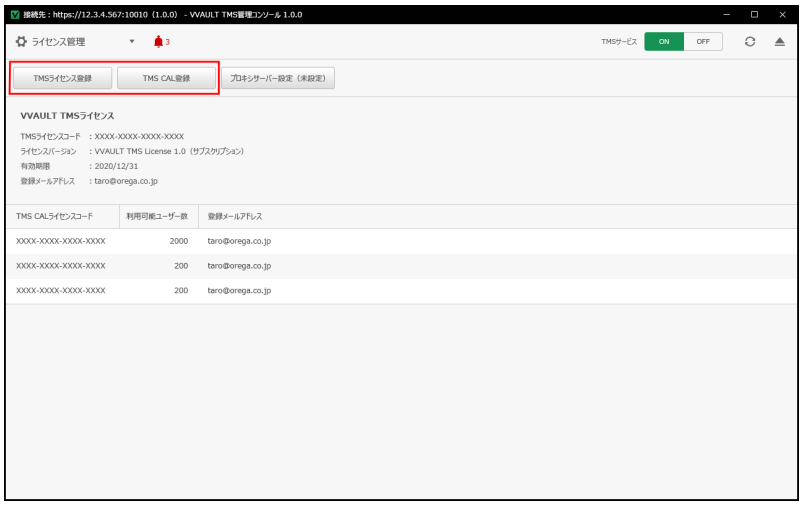
⑥ 正常にライセンスの登録が完了した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすると、登録したライセンス情報がライセンス管理画面に反映されます。

3-4
オンラインでの登録

オンラインでの登録はインターネットへの接続が必要になります。（インターネットに接続する際にプロキシを利用する場合は「プロキシサーバー設定画面（P.23）」をご参照ください）インターネットに接続できない環境の場合は「3-5 オフラインでの登録（P.30）」をご覧ください。

手順解説

① 「TMS ライセンス登録」または「TMS CAL 登録」ボタンをクリックします。

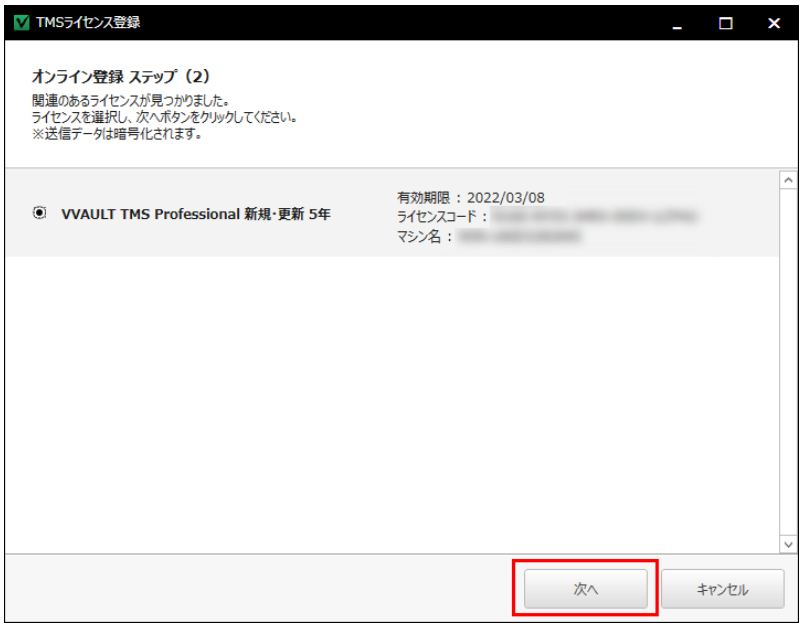


② 「オンライン登録」を選択し、「次へ」をクリックします。

手順解説

③ カスタマーズ・スクエア（https://vvault.jp/customers/）のログインID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

④ カスタマーズ・スクエアにて購入・発行済みで未登録のライセンス一覧が表示されますので、任意のライセンスを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



ワンポイント

カスタマーズ・スクエアのアカウントをお持ちでない場合は、「ユーザ登録申請」より、アカウントを作成してください。
パスワードをお忘れの場合は、「パスワード再発行申請」より、パスワードを再発行してください。

手順解説

⑤ 登録内容を確認し、問題がなければ「登録」ボタンをクリックします。

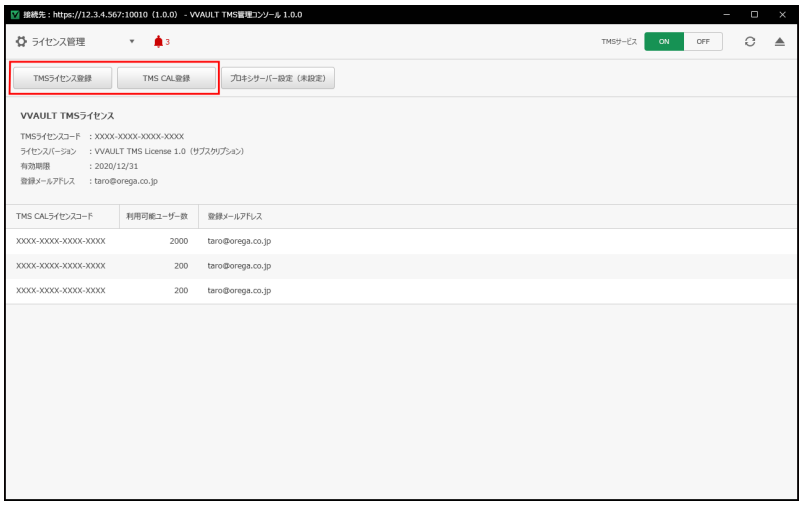
⑥ 正常にライセンスの登録が完了した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすると、登録したライセンス情報がシステム設定画面に反映されます。

3-5
オフラインでの登録

オフラインでの登録には、当社が発行したライセンス証書、またはカスタマーズ・スクエア（https://vvault.jp/customers/）で購入・発行されたライセンスに記載されているライセンスコードが必要になります。お手元にご用意の上、以下の手順に従って登録してください。

手順解説

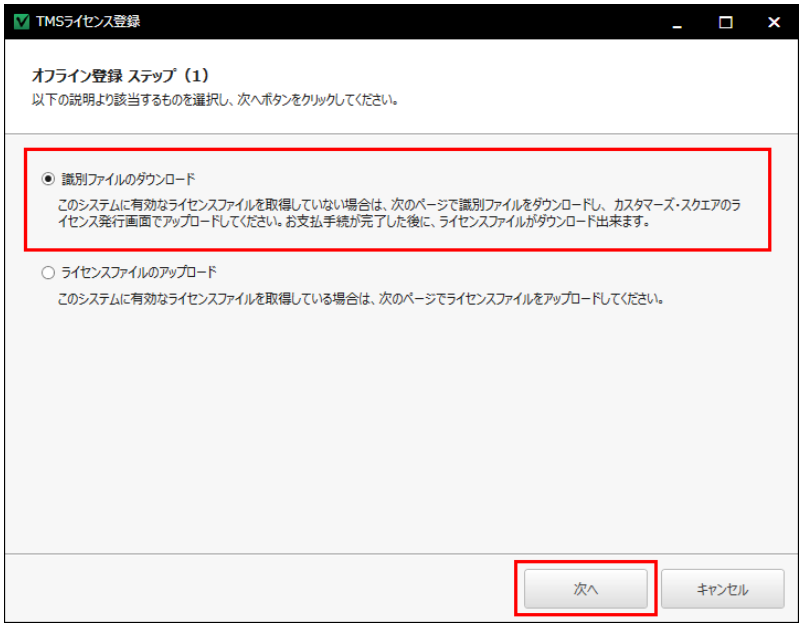
① 「TMS ライセンス登録」または「TMS CAL 登録」ボタンをクリックします。



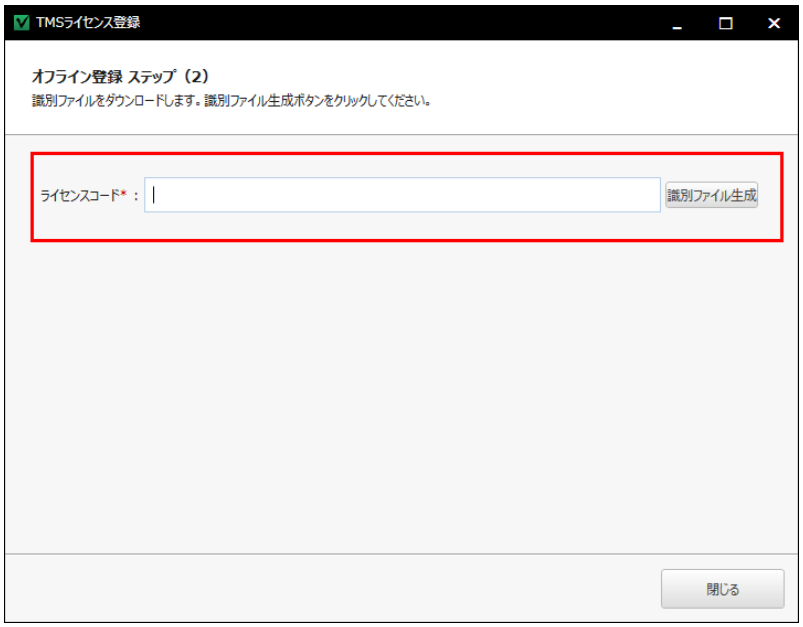
② 「オフライン登録」を選択し、「次へ」をクリックします。

手順解説

③「識別ファイルのダウンロード」を選択し、「次へ」をクリックします。

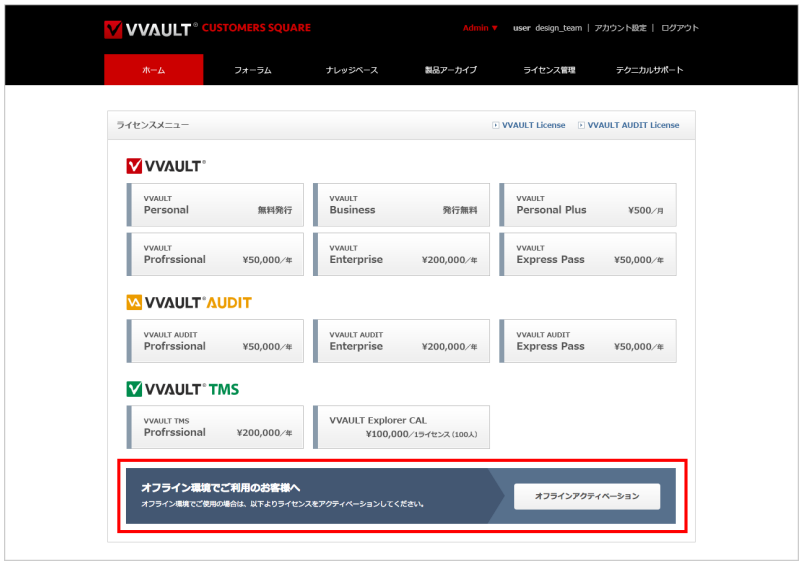


④ ライセンスコードを入力し、「識別ファイル生成」ボタンをクリックし、ライセンス識別ファイル（LicenseRequest.bin）をダウンロードします。



手順解説

⑤ カスタマーズ・スクエアのホーム画面より「オフラインアクティベーション」をクリックします。



⑥ ④でダウンロードした「ライセンス識別ファイル（LicenseRequest.bin）」を選択し、「決定」ボタンをクリックします

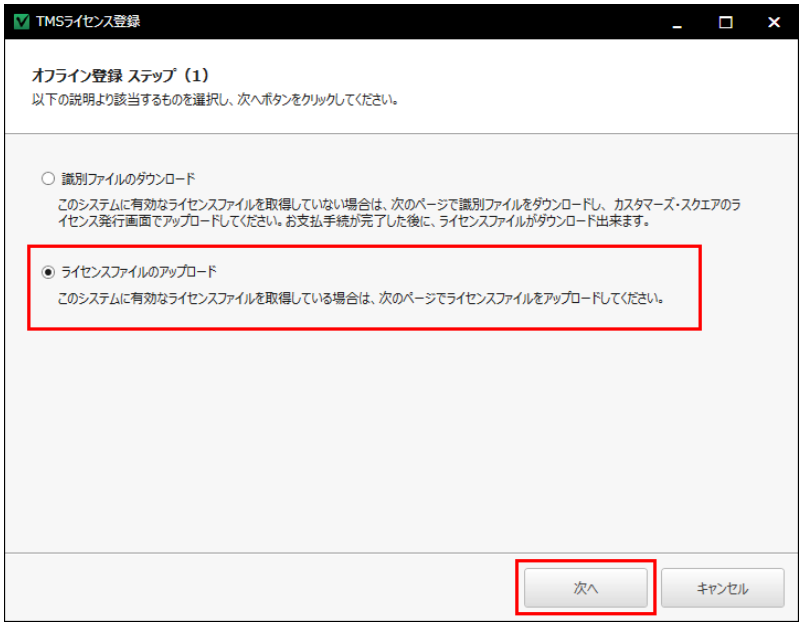
手順解説

⑦ 登録内容を確認し、問題がなければ「決定」ボタンをクリックします。

⑧「ダウンロード」ボタンをクリックし、ライセンスファイル（例：XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXX.txt）をダウンロードします。

手順解説

⑨ 本製品のライセンス管理画面にて③の画面を表示後、今回は「ライセンスファイルのアップロード」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



⑩ ⑧でダウンロードしたライセンスファイルを選択し、「登録」ボタンをクリックします。

手順解説

⑪ 正常にライセンスの登録が完了した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすると、登録したライセンス情報がらい管理画面に反映されます。

4 VVAULTサーバーへの接続

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

4-1 VVAULTサーバーについて 38

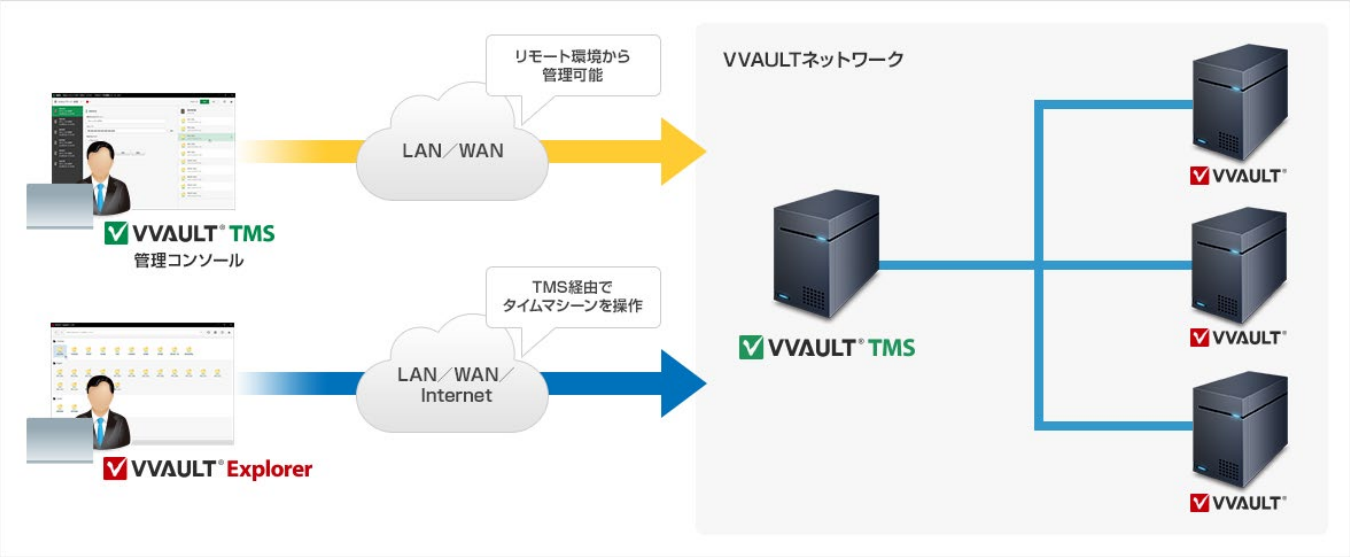
4-2 各部の名称と役割 39

4-3 VVAULTサーバーの追加 41

4-4 サーバー・共有ポイントの表示名変更 43

4-1
VVAULTサーバーについて

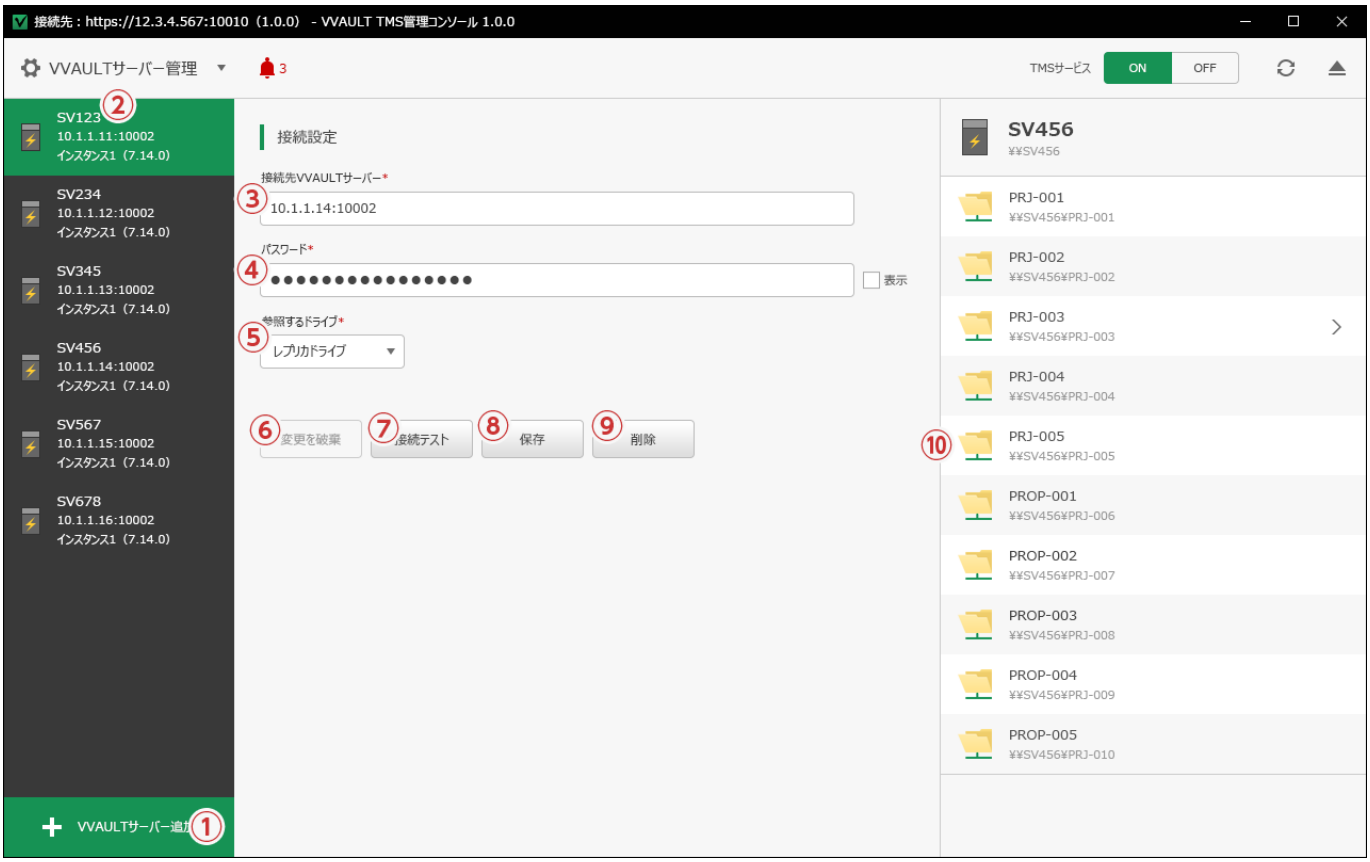
TMS サーバーからVVAULT サーバーへ接続することで、VVAULT Explorerが対象VVAULTのタイムマシーンデータにアクセスできるようになります。VVAULTサーバーには複数接続が可能です。またサーバー名や共有ポイントの表示名を変更することで、DFS 名前空間のような使い方にも対応しています。
尚、TMS サーバーから、VVAULTサーバーに接続するには、事前にVVAULT側でタイムマシーンを設定し、TMS を有効にしておく必要があります。



4-2
各部の名称と役割

TMS サーバーから VVAULT サーバーへの接続管理画面です。

サーバー管理画面



名称と役割

① [VVAULT サーバー追加] ボタン
未設定の VVAULT サーバーを追加します。

② VVAULT サーバーリスト
TMS サーバーが接続している VVAULT サーバーのリストです。

③ 接続先 VVAULT サーバー
VVAULT サーバーへの接続に使用するアドレスとポート番号を入力します。
例：192.168.10.123:10020

④ パスワード
VVAULT サーバーへの接続に使用するパスワードを入力します。

⑤ 参照するドライブ
バックアップとレプリカのうち、どちらのタイムマシーンデータを参照するか選択します。

⑥ [変更を破棄] ボタン
設定値を前回保存された状態に戻します。

⑦ [接続テスト] ボタン

入力された内容で VVAULT サーバーへ接続テストを行います。

⑧ [保存] ボタン

入力されている設定値を保存します。

⑨ [削除] ボタン

対象の VVAULT サーバーを削除します。

⑩ 共有ポイント一覧

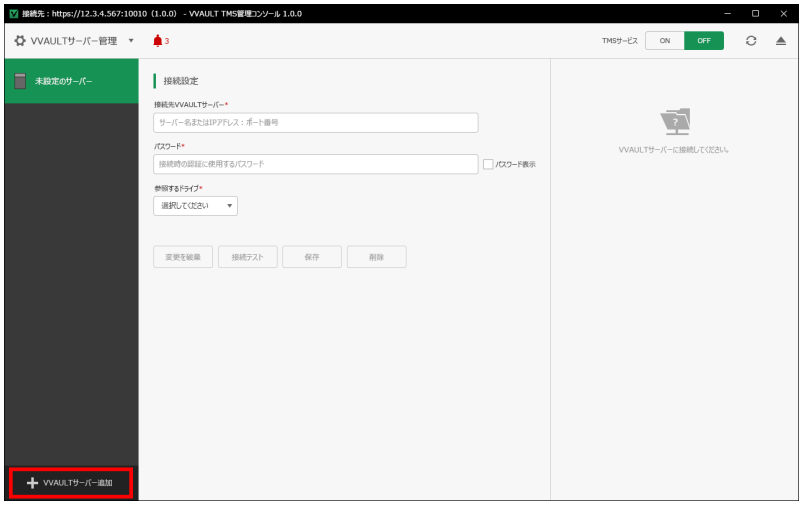
対象の VVAULT サーバー内の共有ポイント一覧を表示します。
この一覧はキャッシュされているため、最新情報に更新するには上部にある「更新」ボタンをクリックしてください。

4-3
VVAULTサーバーの追加

VVAULTサーバーを追加する手順を説明します。

手順解説

① VVUALTサーバー管理画面にて、「VVAULTサーバー追加」ボタンをクリックします。



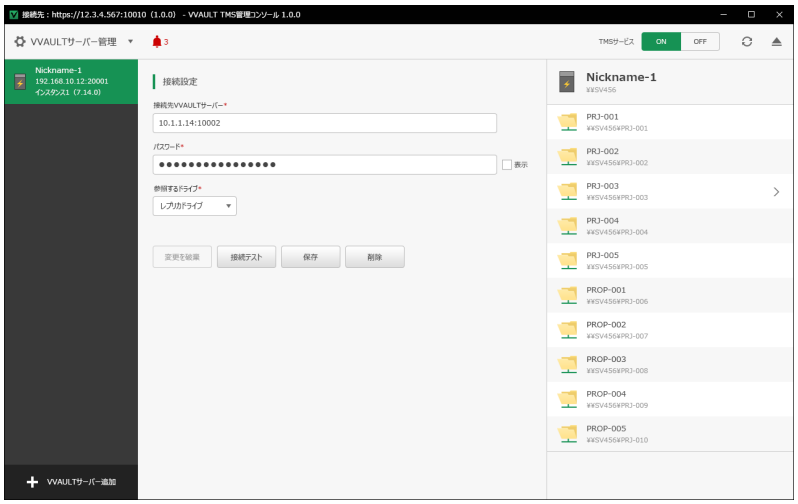
② 対象VVAULTサーバーの接続情報と、参照するドライブを入力して「保存」ボタンをクリックします。

ワンポイント

事前にVVAULT側のほうでタイムマシーンを設定し、TMS待受を有効にしておく必要があります。

手順解説

③ 左のリストにVVAULTサーバーが追加され、右側にVVAULTサーバー内の共有ポイント一覧が表示されます。



ワンポイント

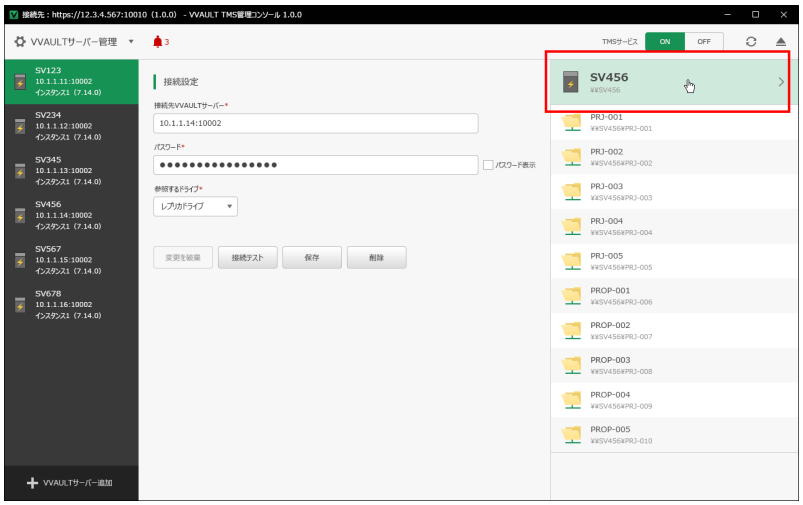
VVAULTサーバーに接続できない場合は、VVAULT側の設定を再度確認してください。またファイアーウォールの設定も問題ないかご確認ください。

4-4
サーバー・共有ポイントの表示名変更

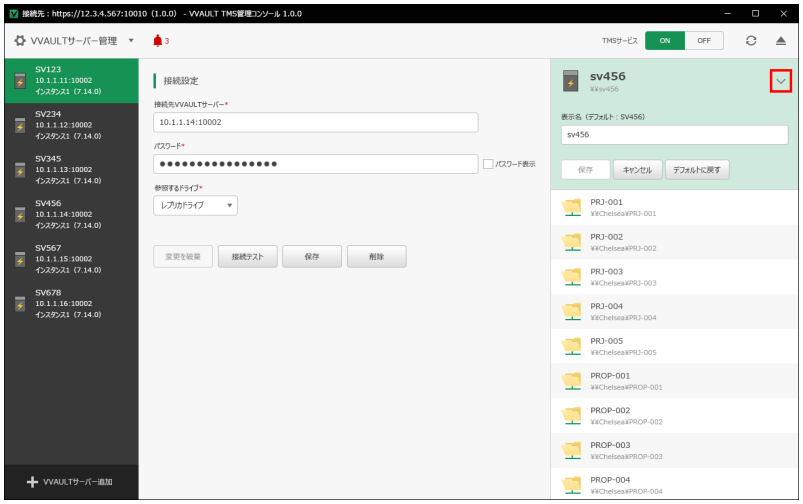
ここではVVAULTサーバーのサーバー名および共有ポイントの表示名を変更する方法について説明します。
変更した表示名は、VVAULT Explorerのほうに反映されます。複数のサーバーを同じ名称にすることで、DFS名前空間のような使い方が可能です。

手順解説

① VVAULTサーバー管理画面にて、対象のサーバーをクリックします。

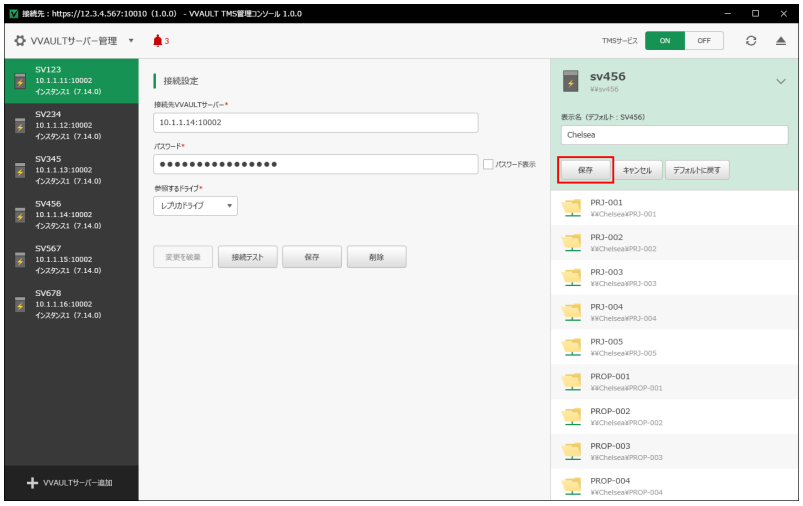


② 右側のサーバより「開閉」アイコンをクリックし、表示名の変更欄を開きます。

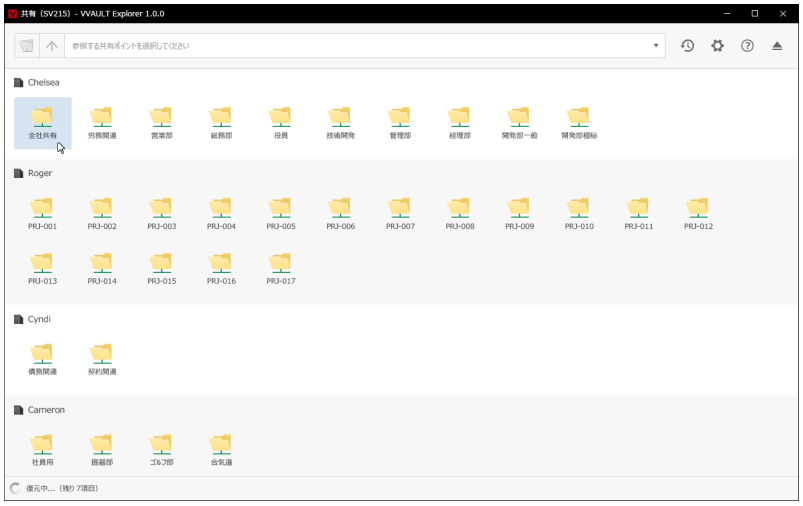


手順解説

③ 任意の表示名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



④ 変更内容がVVAULT Explorerの共有ポイント一覧画面に反映されます。



5 サービスの設定

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

5-1 サービス設定とは 46

5-2 各部の名称と役割 47

5-3 TMSサービスの起動 49

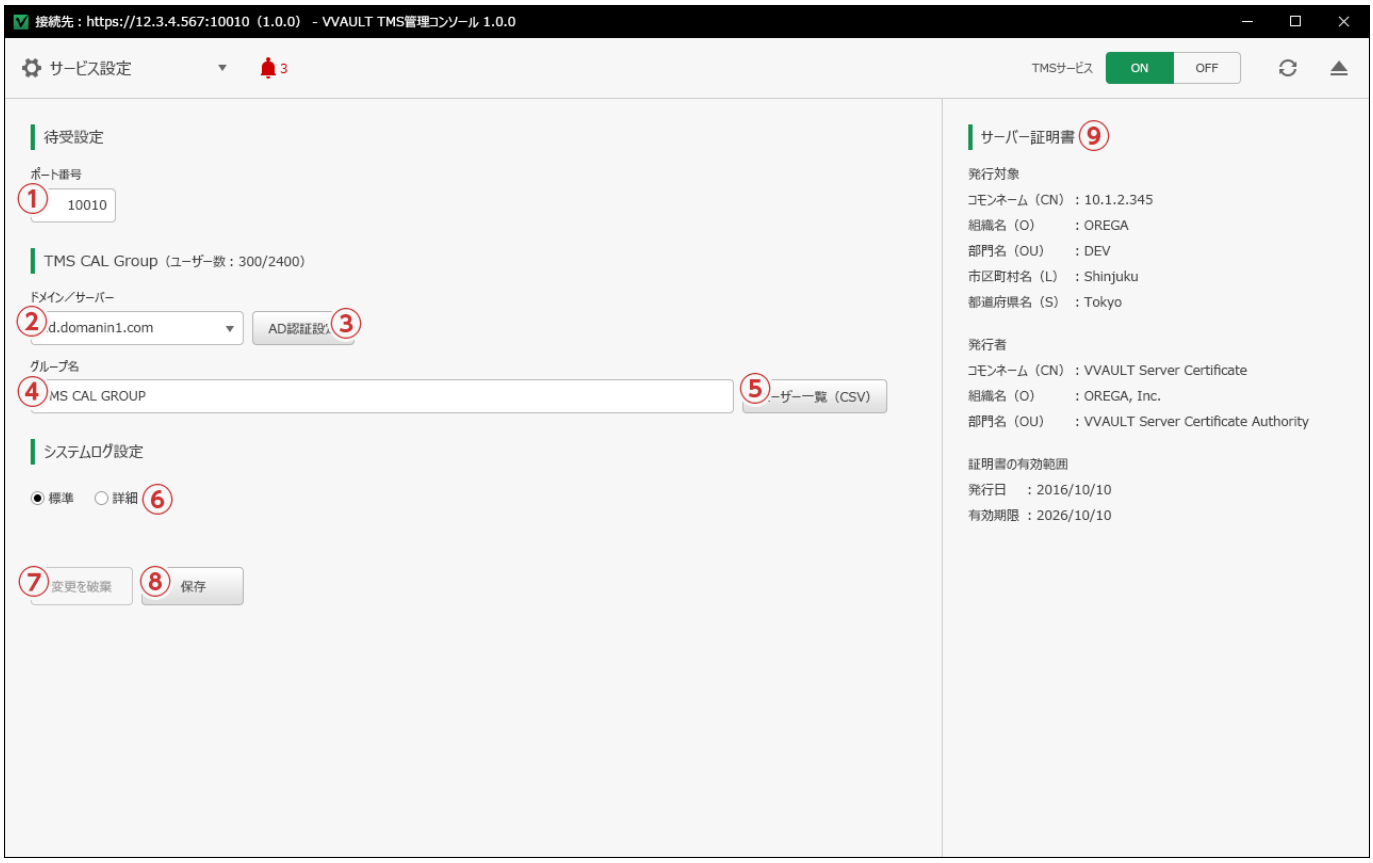
5-1
サービス設定とは

ここではVVAULT Explorerからの待受設定や、TMSサーバーを利用させたいグループの設定などを行います。（Windowsグループが必要になりますので、事前にご用意ください）また、ポートはVVAULT Explorerと管理コンソールで共用しています。変更にはサービス再起動が伴いますので注意が必要です。

5-2
各部の名称と役割

TMS サーバーのサービス設定を行う画面です。

サービス設定画面



名称と役割

① ポート番号

TMS サーバーが使用するポート番号です。変更の反映にはサービスの再起動が必要なため、TMS サーバーは自動的に再起動を行います。操作中の管理コンソールも自動ログアウトします。接続中の VVAULT Explorer も切断されますのでご注意ください。

② ドメイン／サーバー

④のグループを特定するために選択する項目です。TMS がインストールされているサーバー名に加え、ドメインに所属している場合は、ドメイン名がリスト表示されます。
※ドメインを指定した場合は必ず AD 認証設定を行ってください。

③ [AD 認証設定] ボタン

AD 認証設定ウィンドウを表示します。

④ グループ名

TMS サーバーの利用を許可するグループ名を入力します。
（VVAULT Explorer からログインするには、このグループに存在している必要があります）
必ず②で指定された環境下に存在するグループを指定してください。
尚、グループ内のユーザー数が、ライセンス管理画面にて設定された CAL 数の合計を超えていると、ライセンス違反状態となりますのでご注意ください。

⑤ [ユーザー一覧（CSV)] ボタン
グループ名欄にて指定されたグループ内のユーザー一覧を CSV ファイルでダウンロードします。

⑥ システムログ設定
アプリケーションログの出力設定です。サポート等で指示があった際にご利用ください。

⑦ [変更を破棄] ボタン
設定値を前回保存された状態に戻します。

⑧ [保存] ボタン
入力されている設定値を保存します。

⑨ サーバー証明書
インストールされているサーバー証明書の情報を表示します。
※TMS1.0.0 時点で、公的なサーバー証明書のインストールは未対応です。

AD 認証設定ウィンドウ

名称と役割

① アカウント ID
AD への接続に使用するアカウント ID を入力する項目です。
※ドメインの管理者権限を持つアカウントを指定してください。

② パスワード
AD への接続に使用するパスワードを入力する項目です。

③ [表示] チェックボックス
パスワード欄に入力されている文字列を可視化します。

④ [決定] ボタン
入力されている設定値を保存します。

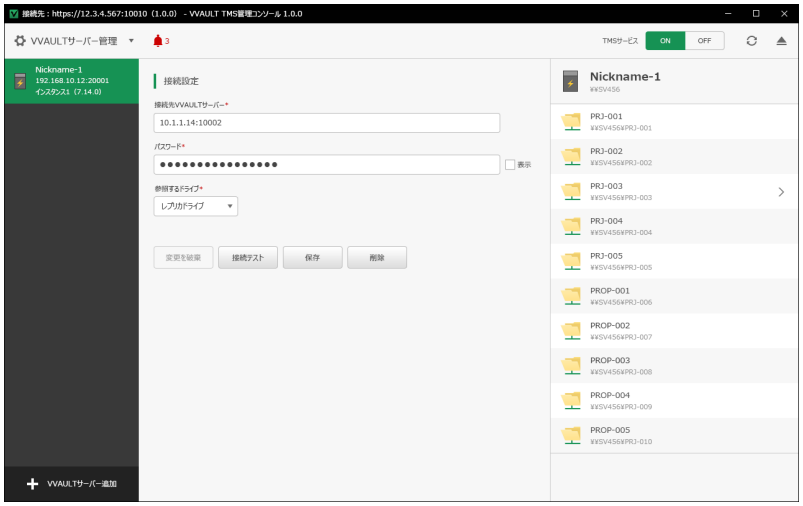
⑤ [キャンセル] ボタン
設定値を保存せず、ウィンドウを閉じます。

5-3
TMSサービスの起動

TMS サーバーのサービス設定を行う画面です。

手順解説

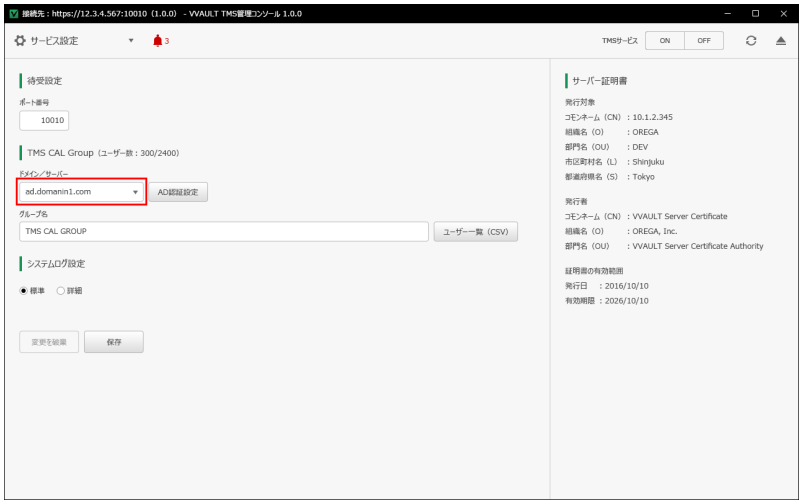
① グローバルメニューより、「サービス設定」をクリックします。



ワンポイント

事前にVVAULTサーバー管理にて、VVAULTサーバーの追加を行っておく必要があります。

② VVAULT Explorer からのログインを許可させたいグループが存在する環境をプルダウンから選択し、グループ名を入力します。

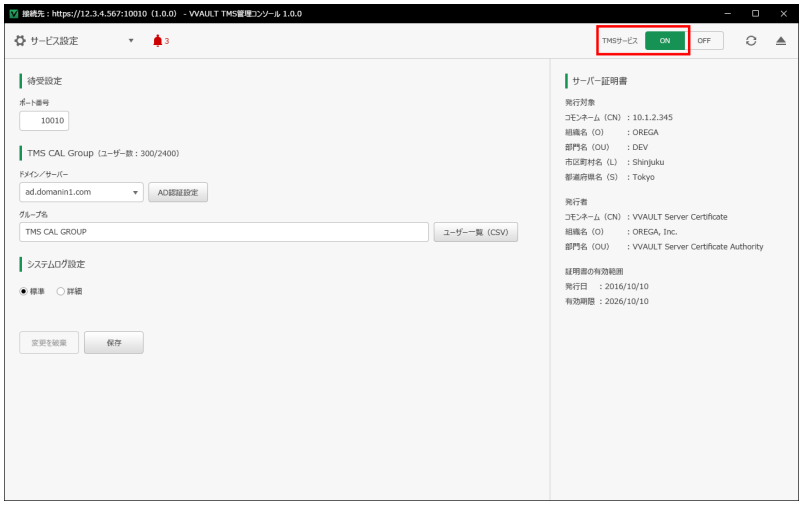


ワンポイント

ドメインを選択した場合は「AD認証設定」ボタンより、ドメインの管理者権限を持つユーザーを指定してください。
また、指定グループ内のユーザー数がCAL数を超えると、ライセンス違反となります。あらかじめユーザー一覧CSVにてユーザー数を確認しておいてください。

手順解説

③ TMS サービスの「ON」ボタンをクリックします。



6 通知メールの設定

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

6-1 通知メールとは――52

6-2 各部の名称と役割――53

6-1
通知メールとは

通知メールとは、本製品を使用中に発生した事象について、設定されたメールアドレスに対してメールを送信する機能です。
この機能を利用することで管理コンソールへログインしていなくても、障害情報や発生している問題を確認することができます。

メールが送信されるイベント

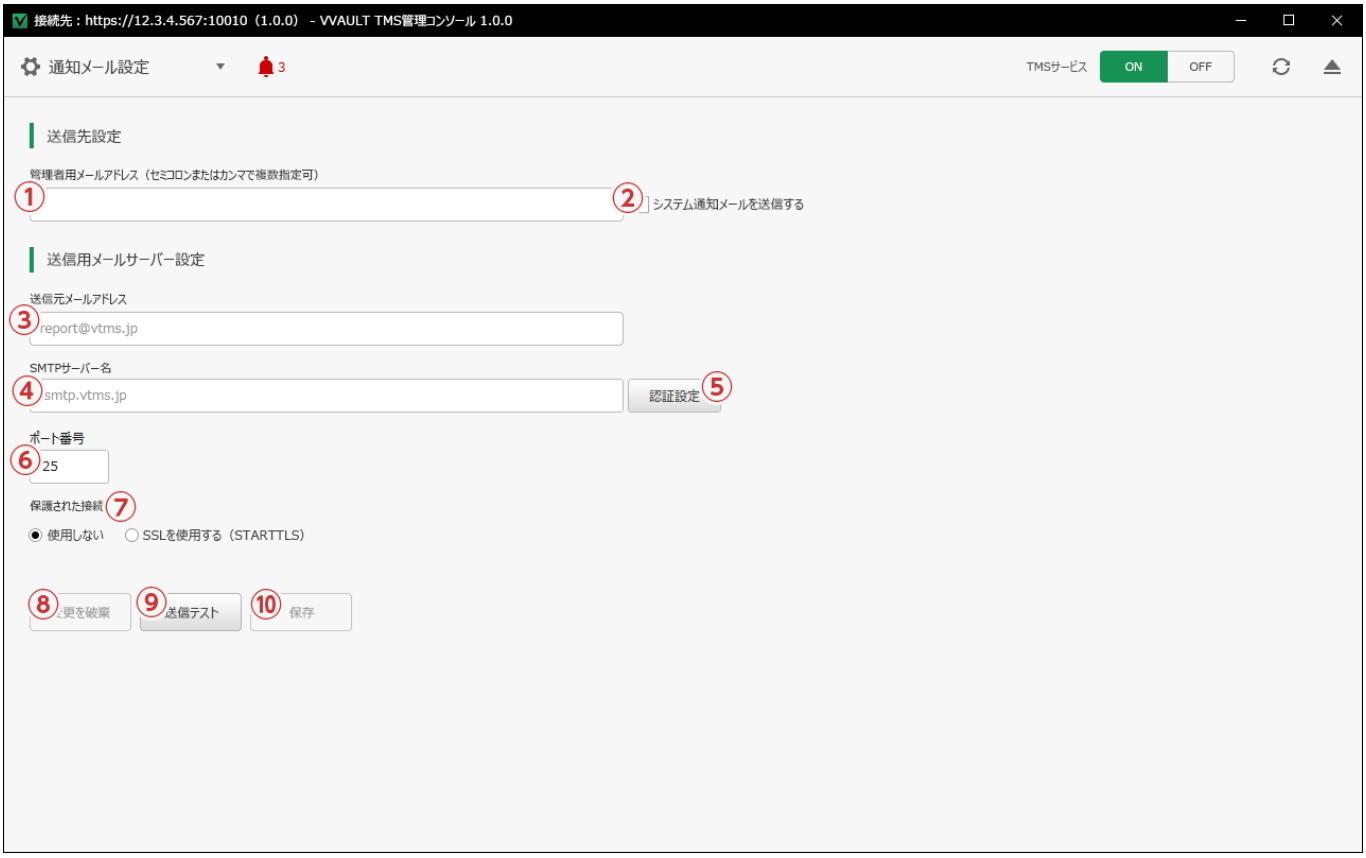
【障害】

・VVAULTサーバーへの接続に失敗した場合
・VVAULTサーバー内にある参照先ドライブへの接続に失敗した場合
・ライセンスの違反を検知した場合
・ライセンスの失効を検知した場合

6-2
各部の名称と役割

TMS サーバーから通知するメールの各種設定画面です。

通知メール設定画面



名称と役割

① **管理者用メールアドレス**
管理者用メールアドレスを入力する項目です。複数の送信先を指定する場合は、セミコロンまたはカンマ区切りで入力してください。

② **［システム通知メールを送信する］チェックボックス**
通知メールを送信する場合はチェックを入れてください。

③ **送信元メールアドレス**
送信元メールアドレスを入力する項目です。未入力の場合は 1 番目の送信先アドレスとなります。

④ **SMTP サーバー名**
SMTP サーバー名を入力する項目です。

⑤ **［認証設定］ボタン**
SMTP サーバーへの接続認証設定ウィンドウを表示します。

⑥ **ポート番号**
SMTP のポート番号を入力する項目です。未入力の場合は 25 番ポートが使用されます。

⑦ **保護された接続**
SMTP サーバーへの接続方法を選択する項目です。

⑧ [変更を破棄] ボタン
設定値を前回保存された状態に戻します。

⑨ [送信テスト] ボタン
入力されている設定値で送信テストを行います。

⑩ [保存] ボタン
入力されている設定値を保存します。

認証設定ウィンドウ

名称と役割

① [接続にユーザー名とパスワードを使用する] チェックボックス
SMTP サーバーへの接続に認証が必要な場合はチェックを入れてください。

② ユーザー名（①チェック時入力必須）
SMTP サーバーへの接続に使用するユーザー名を入力する項目です。

③ パスワード（①チェック時入力必須）
SMTP サーバーへの接続に使用するパスワードを入力する項目です。

④ [表示] チェックボックス
パスワード欄に入力されている文字列を可視化します。

⑤ [決定] ボタン
入力されている設定値を保存します。

⑥ [キャンセル] ボタン
設定値を保存せず、ウィンドウを閉じます。

7 操作ログのダウンロード

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

7-1 操作ログとは 56

7-2 各部の名称と役割 57

7-1
操作ログとは

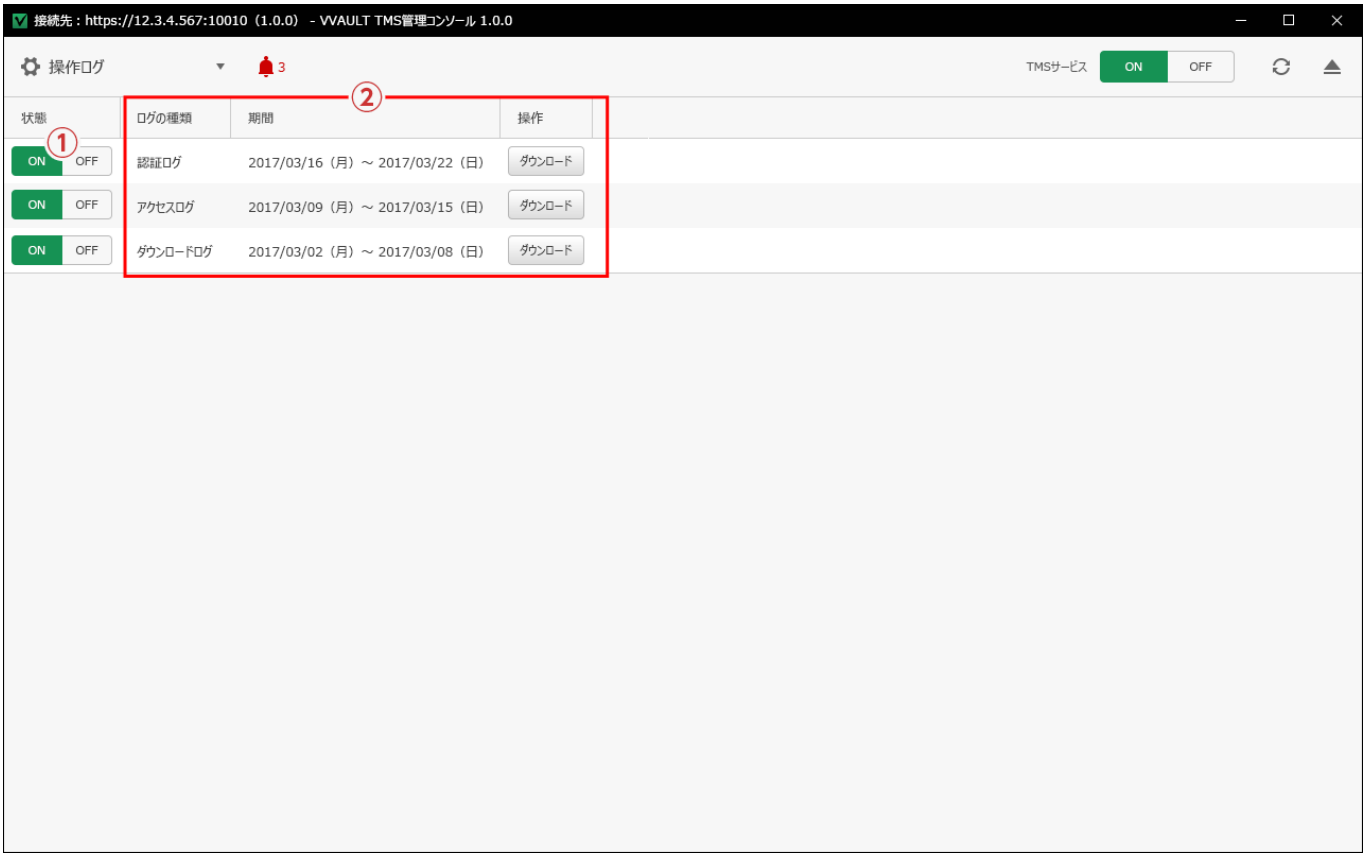
VVAULT Explorerが行った操作ログをファイルでダウンロードします。
操作ログの種類は以下の3つです。

・認証ログ……VVAULT Explorerからのログイン・ログアウト要求が記録されたログです。
・ダウンロードログ……VVAULT Explorerからのダウンロード要求が記録されたログです。
・アクセスログ……上記、認証ログ・ダウンロードログ以外の要求が記録されたログです。

7-2
各部の名称と役割

VVAULT Explorerからのリクエストを記録したログ一覧です。各種ファイルごとにダウンロード可能です。

操作ログ一覧画面



名称と役割

① ［ON/OFF］ボタン
各種ログの記録の有無を選択します。

② 操作ログレコード
ログの種類、期間、操作（ダウンロードボタン）を表示します。

8 認証ロックの解除方法

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

8-1 認証ロックとは 60

8-2 各部の名称と役割 61

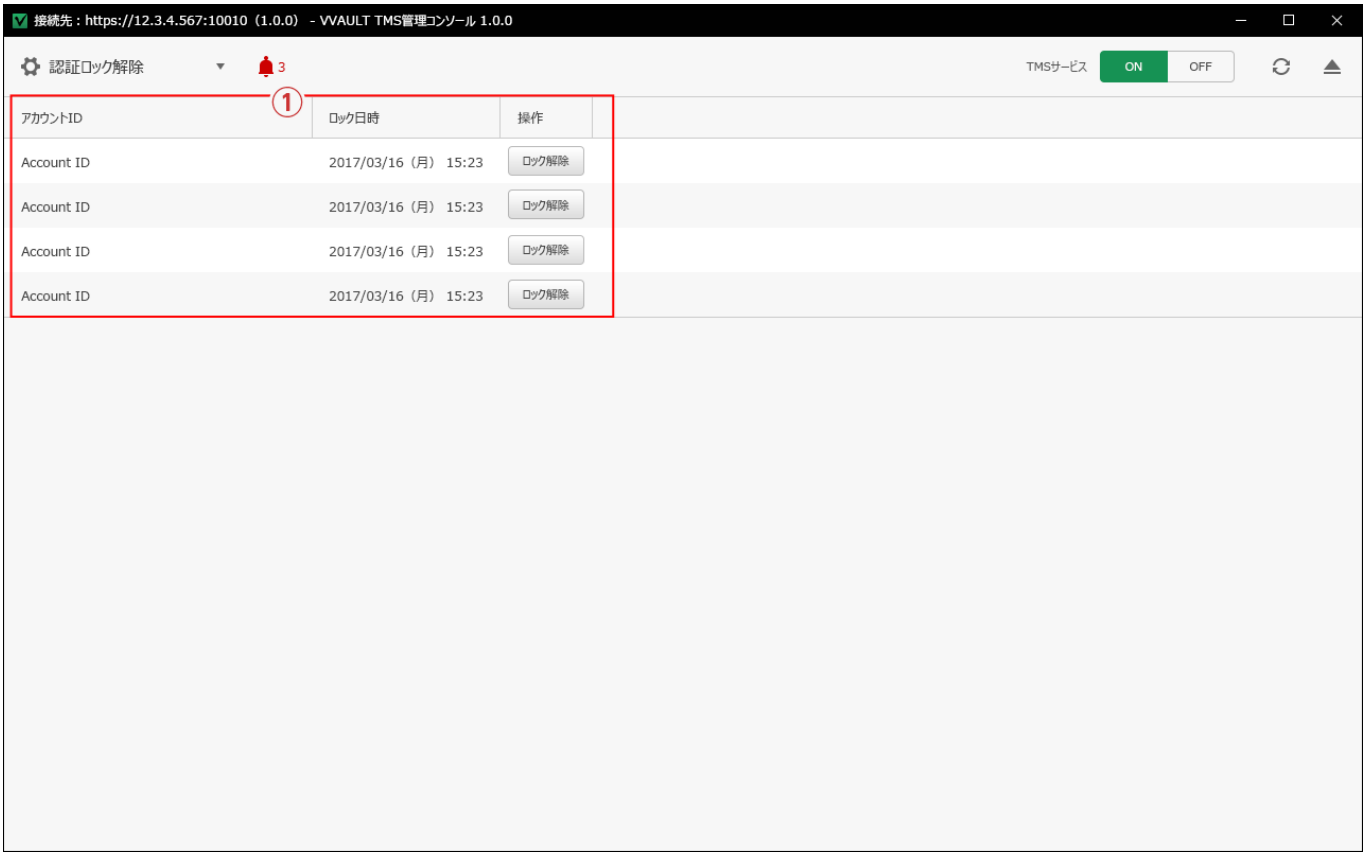
8-1
認証ロックとは

VVAULT Explorer がログイン認証を5回連続で失敗すると、TMS サーバーは対象のアカウントをロックします。ロックされたアカウントは、管理者が解除を行うまで TMS サーバーにログインすることができません。

8-2
各部の名称と役割

認証ロックされたアカウントの一覧が表示されます。ここに表示されているアカウントはTMSサーバーにログインできません。
ログインを許可する場合は「ロック解除」ボタンを押して一覧からクリアしてください。

認証ロック解除画面



名称と役割

① **アカウントレコード**
アカウントID、ロック日時、ロック解除ボタンを表示します。
※一覧はアカウントID昇順で表示されます。

9 警告・障害の解決方法

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

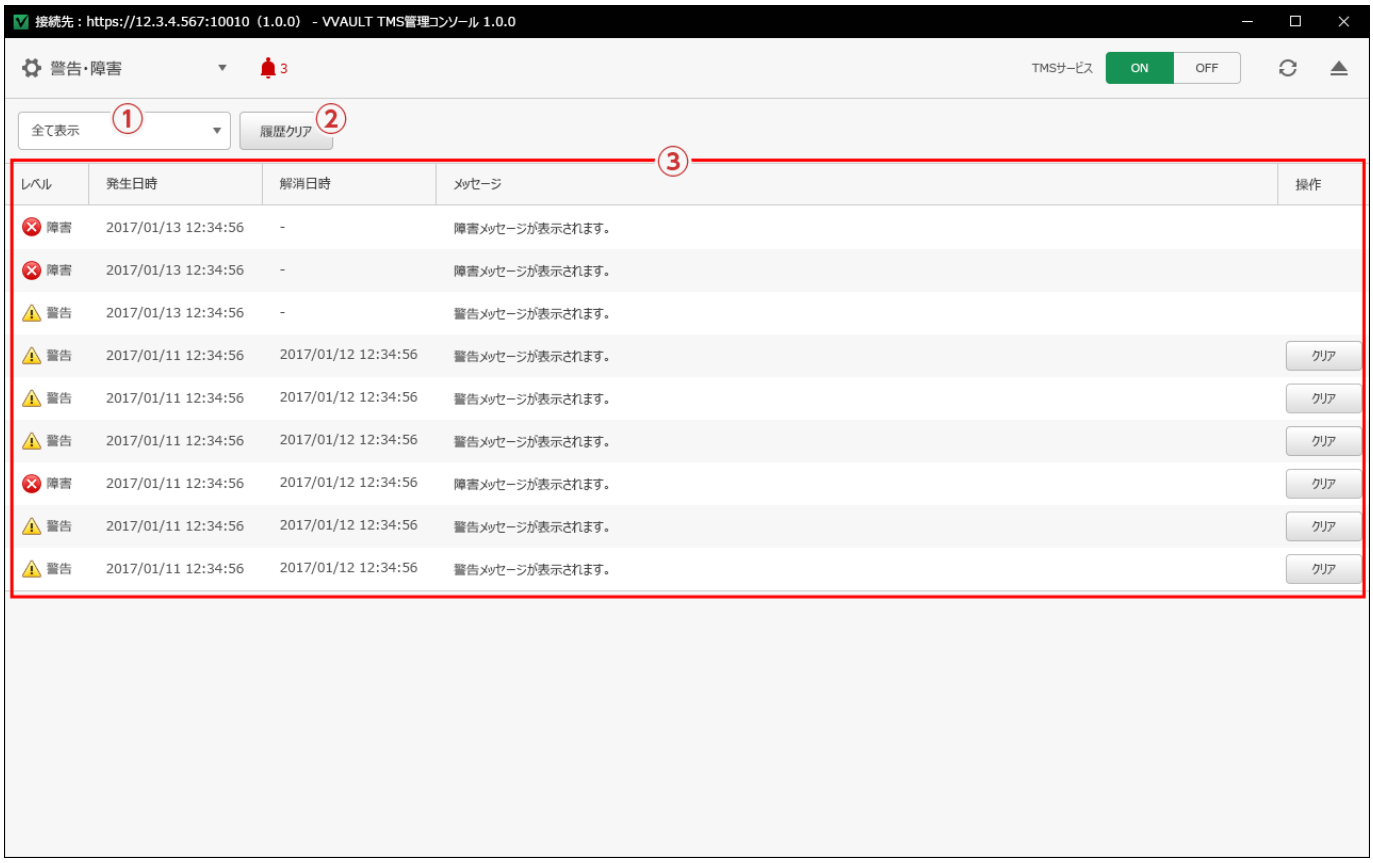
9-1 警告・障害情報の確認 64

9-2 警告・障害の種類と解決方法 65

9-1
警告・障害情報の確認

警告・障害情報画面ではTMSサーバー全体で発生した問題について確認できます。
ここでは現在発生中の問題と、履歴のみをそれぞれフィルタリングして表示させることができます。
各部の名称と役割については以下を、各問題の詳細については、「9-2 警告・障害の種類と解決方法（P.65）」をご覧ください。

警告・障害情報画面



名称と役割

① 表示切替

発生中の警告・障害のみ表示
現在発生中の問題のみ表示します。

履歴のみ表示
過去に発生し、現在は解消している問題のみを表示します。

全て表示
上記どちらも含めて全て表示します。

② ［履歴クリア］ボタン
履歴（解消している問題）レコードを一覧からすべてクリアします。

③ レコード
警告・障害のレベル、発生日時、解消日時、メッセージを表示します。
※履歴レコードのみ解消日時とクリアボタンが表示されます。

9-2
警告・障害の種類と解決方法

障害

メッセージ	サーバーが見つからないため、「VVAULTサーバー名」に接続できません。
発生条件	接続設定の情報で接続ができない場合。
クリア方法・条件	接続設定を正しく設定する。

メッセージ	パスワード不一致か認証ロックの可能性があるため、「VVAULTサーバー名」に接続できません。
発生条件	接続時に、パスワード不一致か認証ロックの場合。
クリア方法・条件	正しいパスワードを入力する。 認証ロックの場合、下記の方法で認証ロックが解除されます。 ・最終アクセス日時から20分経過する。 ・VVAULTサーバーのTMS待受を「OFF」し「ON」にする。 ・VVAULTサーバーのサービスを再起動する。

メッセージ	タイムアウトが発生したため、「VVAULTサーバー名」に接続できません。
発生条件	VVAULTサーバーが応答しない場合。
クリア方法・条件	VVAULTサーバーが応答する。

メッセージ	予期しないエラーが発生したため、「VVAULTサーバー名」に接続できません。
発生条件	予期しないエラーが発生した場合
クリア方法・条件	テクニカルサポートにお問い合せください。

メッセージ	参照するドライブがインストールされていないか、未使用のため「VVAULTサーバー名」に接続できません。
発生条件	参照するドライブがインストールされていないか、未使用の場合
クリア方法・条件	参照するドライブをインストールを行うか、使用しているドライブを設定してください。

メッセージ	TMSライセンスが失効しており、ご利用いただけない状態になっています。
発生条件	TMSライセンスが失効している場合
クリア方法・条件	有効なTMSライセンスを登録してください。

メッセージ	Explorer CAL Groupのユーザ数が利用可能ユーザ数を超過したため、ログイン制限しています。
発生条件	Explorer CAL Groupのユーザ数が利用可能ユーザ数を超過した場合
クリア方法・条件	下記の方法でログイン制限を解除できます。 ・Explorer CAL Groupのユーザ数を利用可能ユーザ数以内にしてください。 ・有効なExplorer CALを登録してください。

情報

メッセージ	TMSライセンスの有効期限が近づいております。
発生条件	残り日数が下記の日にちを過ぎた場合 Professional ライセンス 90日、60日、30日、15日、10日、5日、1日 評価ライセンス 10日、5日、1日
クリア方法・条件	有効なライセンスで更新する。

10 管理コンソールの単体インストール

Setting Manual for VVAULT TMS 1.0

10-1 管理コンソール単体のインストール前の準備 68

10-2 管理コンソール単体のインストール 69

10-3 管理コンソール単体のアンインストール 72

10-1
管理コンソール単体のインストール前の準備

動作環境の確認

管理コンソール

CPU	Intel x86 ／ x64 互換プロセッサ（Xeon E3 以上推奨）
対応OS	SERVER OS Windows Server 2022（64bit） Windows Server 2019（64bit） Windows Server 2016（64bit） PC OS Windows 10（32bit ／ 64bit）
メモリ	1GB 以上（2GB 以上推奨）
ディスク容量	500MB 以上の空き領域
必要ソフトウェア	.NET Framework 4.5
対応環境	同バージョンの VVAULT TMS がインストールされたサーバー ドメイン（ドメインコントローラー、ドメインメンバー） ワークグループ

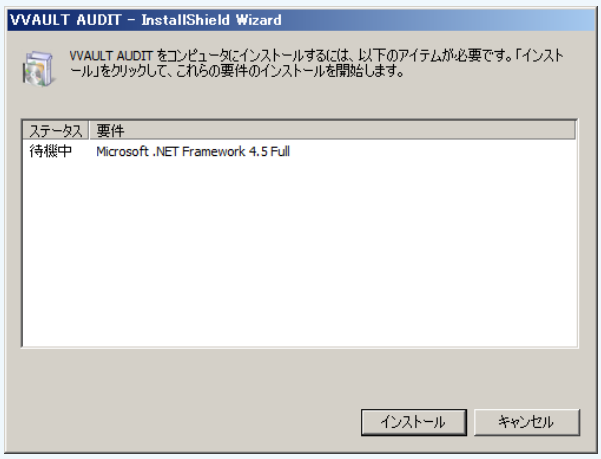
10-2
管理コンソール単体のインストール

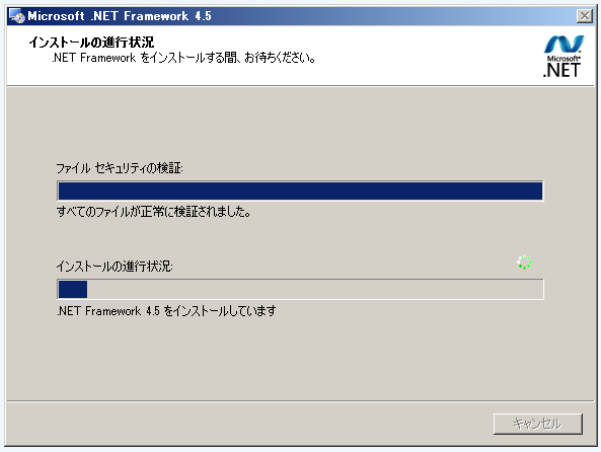
本製品のインストーラーを製品サイト（http://vvault.jp/download/）からダウンロードし、実行してください。

Microsoft .NET Framework 4.5について

インストール手順①でインストーラーを実行した際、「Microsoft .NET Framework 4.5」がインストールされていない環境では、以下の画面が表示されます。本製品の動作に必要なソフトウェアの為、ウィザードに従ってインストールしてください。

※インストール後は再起動が必要になる場合があります。



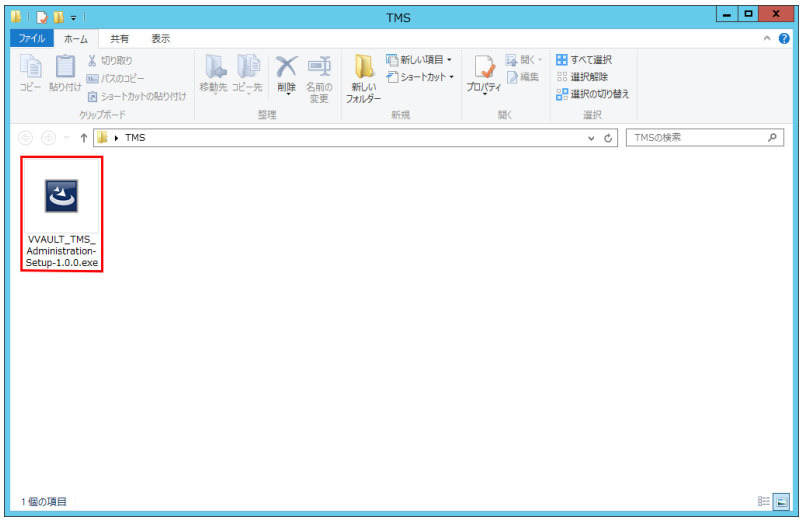


尚、ネットワークに接続できない環境でのご利用の場合は、以下のURLより別途インストーラーをダウンロードして、インストールしてください。

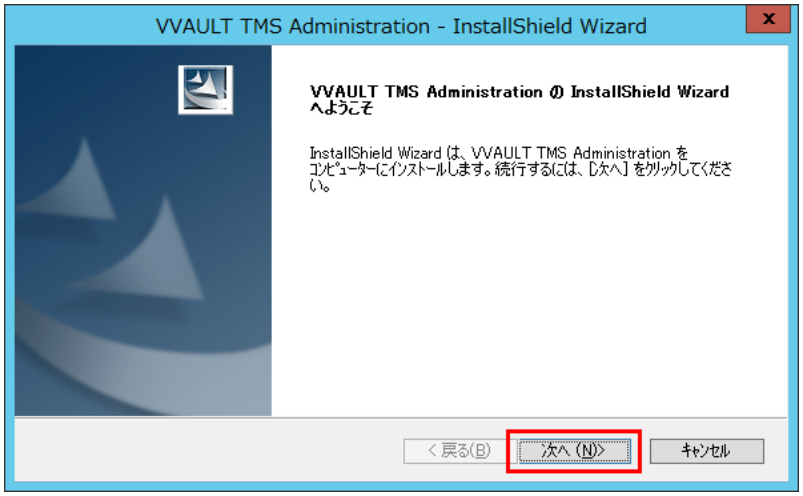
http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30653

手順解説

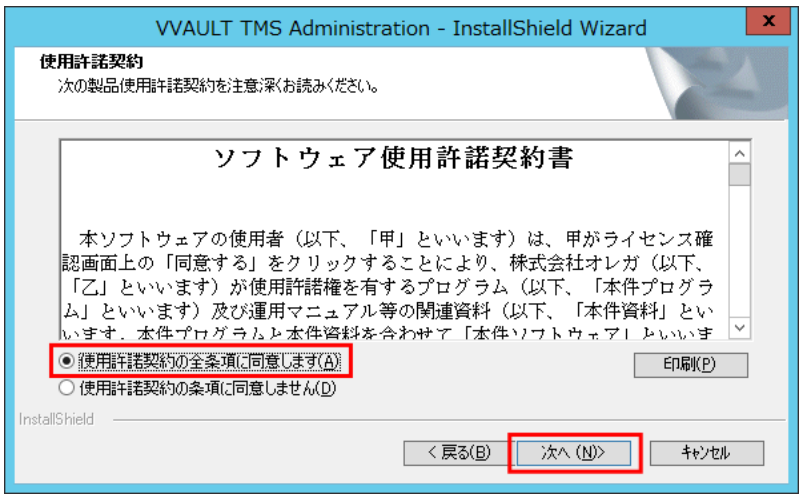
① 本製品の最新版のインストーラーを実行します。



② インストーラーのウィザード開始画面にて「次へ」ボタンをクリックします。



③ 使用許諾契約を確認後、「使用許諾契約の全条項に同意します（A)」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。

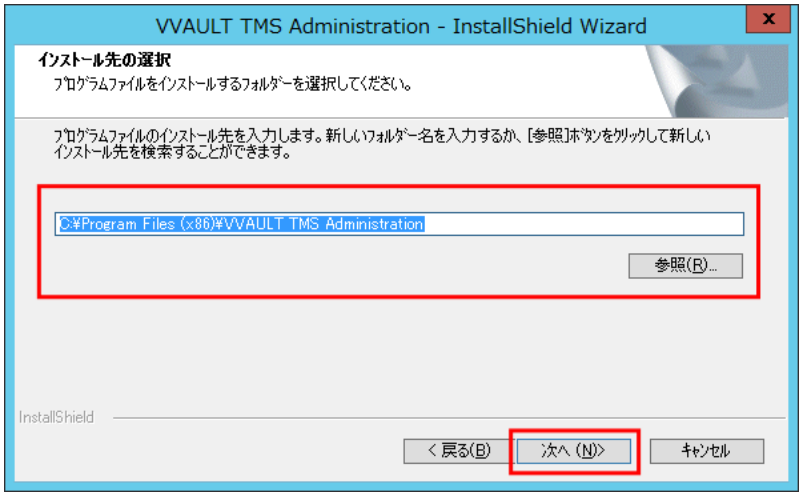


⚠ ご注意

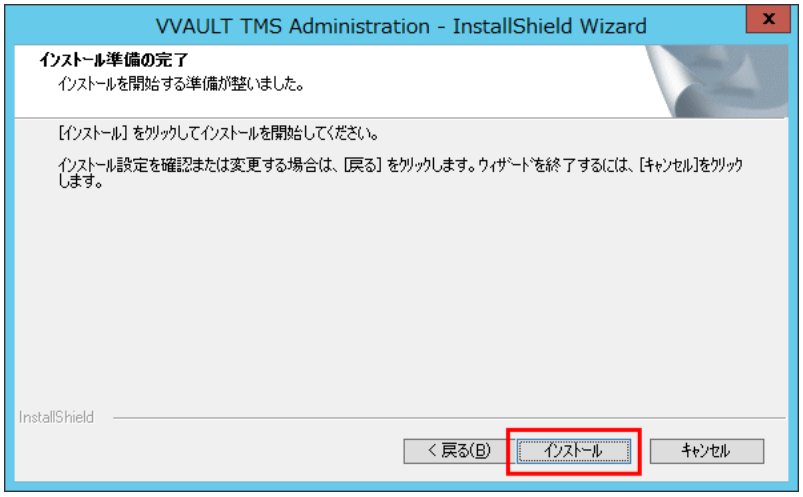
UAC が有効の場合、インストーラーは管理者権限で実行してください。
またドメインメンバーのコンピューターにインストールする場合は、ローカルの管理者アカウントでログインしてから実行してください。

手順解説

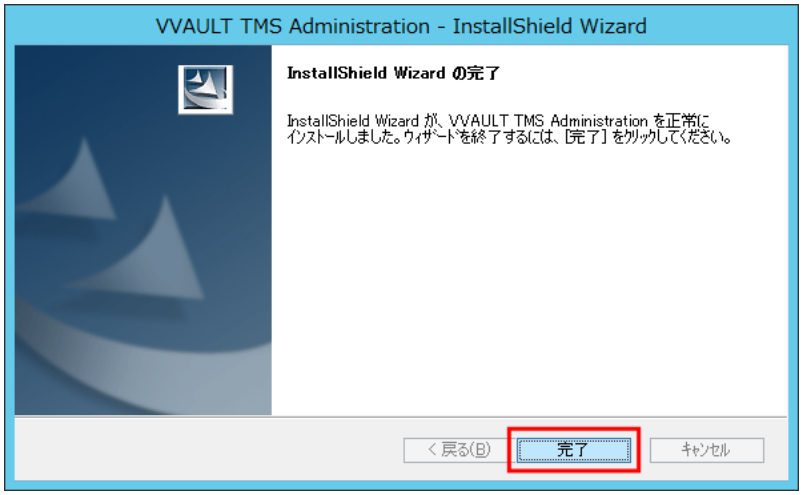
④ プログラムのインストール先を指定し「次へ」ボタンをクリックします。



⑤「インストール」ボタンをクリックします。



⑥「完了」ボタンをクリックするとインストールが完了します。

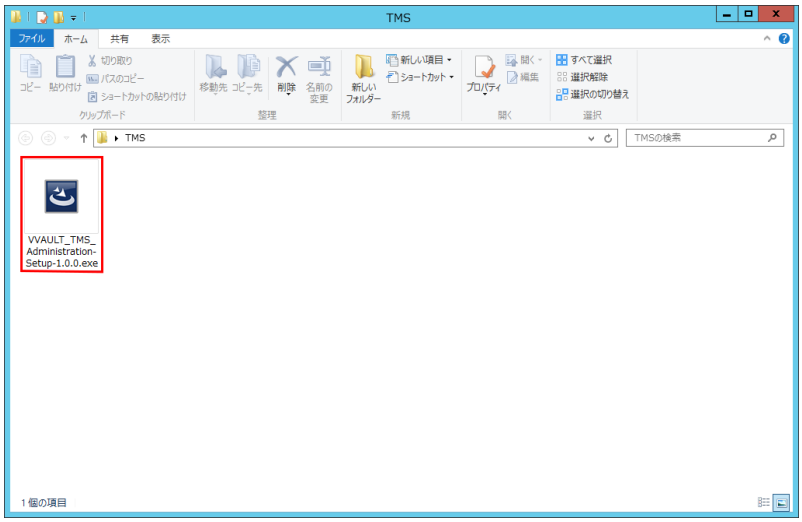


10-3
管理コンソール単体のアンインストール

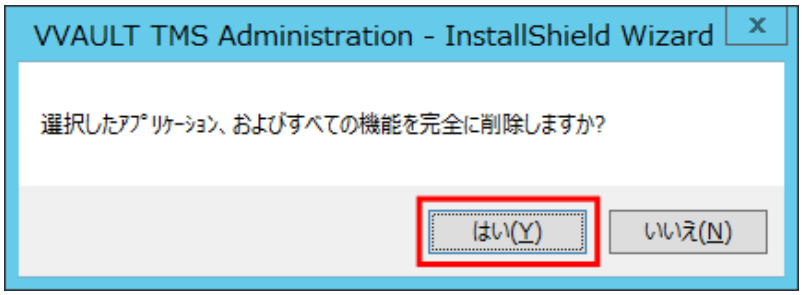
本製品のインストーラーを製品サイト（http://vvault.jp/download/）からダウンロードし、実行してください。

手順解説

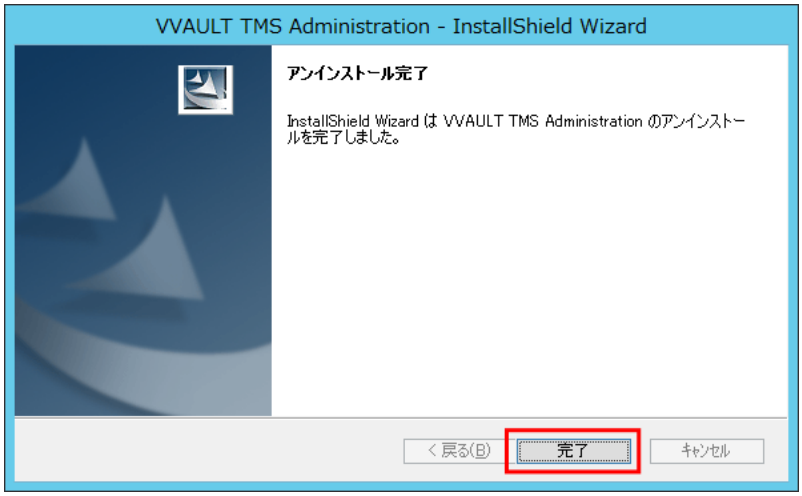
① インストールされているVVAULT TMS Administrationと同じバージョンのインストーラーを実行します。



② 以下のダイアログが表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。



③ 「完了」ボタンをクリックしアンインストールを完了させます



ワンポイント

インストールに使用したインストーラーが無い場合は、コントロールパネルの「プログラムと機能」からVVAULT TMS Administrationを右クリックしてアンインストーラーを起動することができます。尚「プログラムと機能」と同等の機能はOSによって名称や操作が異なります。